

【施策01】 地域コミュニティ・学び

- ◆展開方向01：地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進
- ◆展開方向02：まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
- ◆展開方向03：歴史遺産の継承と学びの充実
- ◆展開方向04：スポーツに親しむ機会の充実

展開方向01	1 コミュニティ助成事業費	10
	2 みんなの尼崎大学事業費	11
	3 地域団体活動促進事業費	12
	4 市民活動情報発信事業費	13
	5 あまがさきチャレンジまちづくり事業費	14
	6 あまがさき市民まつり事業補助金	15
	7 尼崎市社会福祉協議会補助金	16
	8 地域資源情報公開システム事業費	17
	9 特定非営利活動促進事業費	18
	10 中央地区学びと活動推進事業費	19
	11 小田地区学びと活動推進事業費	20
	12 大庄地区学びと活動推進事業費	21
	13 立花地区学びと活動推進事業費	22
	14 武庫地区学びと活動推進事業費	23
	15 園田地区学びと活動推進事業費	24
	16 大庄西中学校跡地活用等整備事業費	25
	17 学社連携推進事業費	26
	18 成人教育事業費	27
	19 PTA連合会等補助金	28
	20 図書館行事事業費	29
	21 障がい者等サービス事業費	30
	22 図書等購入事業費	31
	23 図書館サービス網関係事業費	32
	24 図書館資料整理事業費	33
展開方向02	25 国際交流事業補助金	34
	26 尼崎市文化振興財団補助金	35
	27 白髪一雄生誕100年記念事業費	36
	28 文化団体育成補助金	37
	29 文化芸術推進事業費	38
展開方向03	30 文化財保護啓発事業費	39
	31 歴史博物館資料保存事業費	40
	32 歴史博物館展示事業費	41
	33 文化財保存活用地域計画策定事業費	42
	34 歴史博物館教育普及事業費	43
	35 あまがさきアーカイブズ推進事業費	44
	36 歴史的公文書等管理・公開事業費	45
	37 MLA連携推進事業費	46
	38 田能資料館展示事業費	47
	39 田能資料館教育普及事業費	48
展開方向04	40 「スポーツのまち尼崎」促進事業費	49
	41 ふれあいスポーツ推進事業費	50
	42 生涯スポーツ・レクリエーション事業費	51
	43 市民スポーツ振興事業費	52
	44 スポーツ大会事業費	53
	45 学校開故事業費	54

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	コミュニティ助成事業費	1E1D
根拠法令	コミュニティ助成事業実施要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 —
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	津田 江美、星川 昌則、中島 正貴、神崎 宏治、田岡 清、坂本 満代
---	-------	---	-------------------------------------	------	------------------------------------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業による助成金(コミュニティ助成事業)を活用した、地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図るための補助事業であり、補助金交付決定団体に対して補助金を交付する。
事業概要	地域の活性化と住民のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的とする宝くじの社会貢献広報事業による助成金を活用し、自治会等が行うコミュニティ活動に必要な設備等の整備に対して補助を行う。
実施内容	<p>○小田地域課 常光寺福祉会館は、常光寺社会福祉連絡協議会の地域交流活動の拠点施設であり、高齢者の見守り活動や地域との交流促進、地域住民参加型の花の育成を通じた憩いの場づくり等を行う施設である。この常光寺福祉会館において、地域のコミュニティ活動の更なる充実・強化を図るため、次の事業に対して補助を行った。(補助金交付額:2,500,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネタイプの空調設備導入 電気代を抑制しつつ安全、安心なコミュニティ活動を活性化させるため。 ・パソコン等OA機器導入 地域への情報発信の充実を図り、健康や防犯の勉強会をより効果的なものとするため。 ・耕運機の導入 花壇を拡大して自然に触れる機会を増やすことで、地域住民がより「地域を好きになる、花を好きになる」ため。

②事業成果の点検

目標指標	申請件数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	件		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	6	令和4年度	6	令和5年度	4
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>○小田地域課 今回の整備により、空調機器使用に伴う電気代を抑制でき、OA機器導入により活動環境が充実したほか、耕運機導入により花壇を拡大したことで地域住民の憩いの場が広がった。このことにより、多様な世代の方が活動しやすくなり、住民が役割を持ち、相互に助け合う連携が生まれ、地域での見守り活動などの活発かつ自立したコミュニティ運営がより充実して行われている。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) 各種広報や各地域振興センターを通じ、自治会等に本事業の周知を行っていくとともに、地域担当職員が地域の様々な主体と顔の見える関係づくりを進める中で、本助成事業を必要とする団体へとつなげていく。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	2,500	2,000	2,500	2,500	
負担金補助及び交付金	2,500	2,000	2,500	2,500	コミュニティ助成事業補助金
人件費 B	849	383	845	392	
職員人工数	0.11	0.05	0.11	0.05	
職員人件費	849	383	845	392	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,349	2,383	3,345	2,892	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	2,500	2,000	2,500	2,500	コミュニティ助成事業収入
一般財源	849	383	845	392	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	みんなの尼崎大学事業費	1E11	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成26年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				

局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	所属長名	森本 仁信
---	-------	---	-----------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域活動を担う“人づくり”に向け、みんなの尼崎大学がプラットフォームとなり、市民の主体的な学習や活動を支援することにより、学びを通じて地域や社会に興味を抱き、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりに取り組む。また若年層を中心に、身近な地域への愛着や主体的な地域への関わりといったシチズンシップを育てる。
事業概要	学びを通じて地域や社会に興味を抱く、また、学びの成果を活動に活かすことのできる環境づくりを進める。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まちで活動したい人の相談・交流の場「みんなの相談室」を6回(191人)、市内の学びの場をめぐる「オープンキャンパス」を5回(122人)開催した。また、各地域課のプラットフォーム(相談を持ち寄る場)の定期開催が広がる中で、担当者同士が情報共有を図る「プラットフォーム×プラットフォーム」を開催した。その他、庁内へのプロモーションとして、市民と職員が平場で話ができる「尼大ランチミーティング」を開催し、職員23人、市民18人の計41人の参加があった。 ・「尼大新歓！」と称し11の市民活動団体による団体紹介・ワークショップを行い、約300人が参加した。 ・尼崎市立歴史博物館と連携して旧ユニテカ記念館の大そうじを開催し、市内外より40人の参加があった。 ・「生涯、学習！」の理念をより多くの市民と共有し地域活動の活性化に寄与することを目的としてみんなの尼崎大学のガイドブックを更新した。 ・まちの人がセンセイや生徒となる「みんなのサマーセミナー」を市立尼崎高等学校で開催した(約290講座)。延べ4,532人の参加があった。 ・まちの課題解決を疑似体験するカードゲーム「ATTF2」を、地域団体や市内中学校等で実施した(体験者延べ595人)。体験者自身が「ATTF2」を今後主催できるよう、カードセットを希望者に配付した。

②事業成果の点検

目標指標	みんなの尼崎大学に係る情報受信者数(各種SNSフォロワー、登録者数等)							単位	人	
目標・実績	目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	—	令和4年度	8,788	令和5年度	9,531
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの相談室」をきっかけに、ユースカウンスル事業Up to You!に参加する高校生と連携したトークイベントの開催など新たなつながりの場が生まれた。 ・杭瀬小学校コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と共催したオープンキャンパスでは、市民が学生生活を体感する中で尼崎の学校教育について主体的に考える機会となった。 ・「尼大新歓！」を初めてつかしんで開催した。出展団体の活動への参加者増や活動内容の周知につながった。 ・みんなのサマーセミナーでは、開催校である市立尼崎高校のクラブ活動の生徒が授業のセンセイを務めるなど、一層連携した内容で開催できた。また、手話通訳ボランティアによる授業通訳や館内案内などアクセシビリティの向上にも努めた。 ・生涯学習活動に関わる人の裾野をより広げるべく市内各所で新たな学びの創出や情報発信に努める必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの相談室」と各地域に広がったプラットフォーム型会議との差別化を図るため、地域を広く横断するテーマについて、話題提供者から話を聞き、集まった人たちでそのテーマについて意見交換を行う「談話室」を新たに開催する。 ・オープンキャンパスのテーマ設定において、市民が広く関心を持っているテーマを探り、オープンキャンパスをきっかけに地域活動への参加の促進を目指す。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	5,402	5,733	7,102	6,657	
報償費			166	117	講師謝礼
需用費	185	225	107	136	消耗品費・印刷費
委託料	5,101	5,101	6,435	5,610	みんなの尼崎大学支援業務委託
使用料及び賃借料			0	14	会場使用料
その他	116	407	394	780	みんなのサマーセミナー負担金等
人件費 B	22,453	22,411	27,431	26,349	
職員人工数	2.60	2.59	3.21	2.93	
職員人件費	20,077	19,852	24,656	22,989	
会任等人件費	2,376	2,559	2,775	3,360	
合計 C(A+B)	27,855	28,144	34,533	33,006	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	27,855	28,144	34,533	33,006	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	地域団体活動促進事業費	1E1M	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市民の暮らしの安全を推進する条例等			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和38年度		
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
局	総合政策局	課	協働推進課、中央地域課、小田地域課、大庄地域課、立花地域課、武庫地域課、園田地域課	所属長名	西田 真弓、津田 江美、星川 昌則、中島 正貴、神崎 宏治、田岡 清、坂本 満代

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民運動の取組を推進するとともに地域団体の活動を支援することで、地域発意による地域の課題解決や魅力向上に向けた取組が広がる地域社会を目指す。
事業概要	明るく住みよい地域社会を形成するため、市民の創意と参加による市民運動を総合的に推進するとともに、10万人わがまちクリーン運動や市民運動各地区推進協議会が各地区の特性に応じて行う事業に対する支援のほか、地域で活動を行う団体が1地区内で実施する事業の初期活動に対する支援を行う。
実施内容	<p>1 市民運動推進委員会(決算額:96千円 需用費等)</p> <p>当該委員会は、市長と構成団体から選出された1名が共同代表を務め、各地区推進協議会、各種団体・関係行政機関70団体(令和6年4月末現在)、学識経験者2名で構成し、市民の創意と参加により明るく住みよく豊かなまちを目指し、市民運動を総合的に推進する。</p> <p>2 市民運動各地区推進協議会事業補助(決算額:7,235千円 予算額:@1,200千円×6地区)</p> <p>市民運動を効果的に推進するため、地域の各種団体で構成されている市民運動各地区推進協議会が実施する事業に対して補助する。</p> <p>3 10万人わがまちクリーン運動(決算額:619千円 委託費等 参加者数:21,585人)</p> <p>市制80周年を契機に、市・市民・事業者が一体となり取り組んだ、全市一斉クリーン運動とクリーン運動月間を継続して実施することにより、市民自らの手でまちの美化を推進するとともに、市民のわがまち意識の醸成を図る。</p> <p>4 地域コミュニティ活動支援事業補助(補助金交付額2,829千円(決算額2,653千円)38事業申請、31事業採択)</p> <p>3人以上で構成される市民活動団体が、市内6地区のいずれか1つの地区で行う公益的な事業に対して3年を限度に補助金を交付するもの。補助金額:補助対象経費の8/10以内、上限10万円</p>

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(地域コミュニティ活動支援事業補助) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	団体		
目標・実績	目標値	36	達成年度	毎年度	令和3年度	32	令和4年度	31	令和5年度	38
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民運動推進委員会では令和5年度の取組テーマである「自転車マナーの向上」、「タバコのマナー向上」に基づき、啓発ポスターの作成・掲示等の取組を実施するとともに、構成団体が一体となって啓発キャンペーンを実施した。 地域コミュニティ活動支援事業の申請団体数は、令和4年度と比べ増加した。補助金が不交付となった事業や補助期間が終了した事業についても、事業を実施、継続できるよう補助金交付以外の方法で活動を支援していく必要がある。 クリーン運動は多くの市民や職員の参加があったものの、コロナ禍前の参加人数に届かない状況が継続している。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民運動推進委員会は、委員会で決めた取組テーマについて、必要に応じて市と連携をしながら、全市一体となって取り組んでいく。 地域コミュニティ活動支援事業は、補助金の交付、不交付に関わらず活動団体が事業を継続できるよう、取組に関心のある人や団体が出会う場の創出や他の補助制度を案内しながら、伴走支援を行う。 地域への愛着と誇りを高める運動として、市民や職員に対してクリーン運動への参加を呼び掛けるとともに、より参加しやすい取組方法を検討する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	4,375	7,064	10,603	11,777	令和5年度からは「地域団体活動促進事業費」に名称変更
需用費	150	76	95	154	啓発に係る取組経費等
委託料	341	649	614	816	クリーン運動収集委託
使用料及び賃借料	6	6	6	7	総会等会場使用料
負担金補助及び交付金	3,878	6,333	9,888	10,800	事業補助金(令和5年度は「あまがさきチャレンジまちづくり事業費」から一部事業を移管したことにより増)
人件費 B	4,324	4,292	14,080	15,597	
職員人工数	0.56	0.56	1.85	2.04	
職員人件費	4,324	4,292	14,080	15,597	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	8,699	11,356	24,683	27,374	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	3,878	6,333	7,235	7,200	市町村振興協会市町交付金
一般財源	4,821	5,023	17,448	20,174	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	市民活動情報発信事業費	1E10
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成23年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	協働のまちづくりを推進するため、様々な段階での市民参加・参画の機会の充実を図る。 市民・事業者・行政が、課題や目標を共有しながら、それぞれが持つ特長を生かした役割を担い、補い合いながら、よりよいまちづくり、地域づくりに取り組んでいる状態を目指すもの。																						
事業概要	市民活動団体の情報や様々な事業の情報を収集し、市民活動ポータルサイト「市民活動の広場あまがさき」を介して市民へ発信していく。																						
実施内容	1 事業内容 インターネット上での市民活動の総合窓口「市民活動の広場あまがさき」を開設し、市民活動団体の情報や様々な事業に関する情報の収集・発信を行っている。平成23、24年度に提案型協働事業として試行的に実施(提案団体に補助金を交付し、協働で運営)し、平成30年度からは、業務委託により運営を行っている。なお、令和2年度にセキュリティの脆弱性が見つかったことを機に、サイト改修を行っている。																						
	2 事業実績																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均月間アクセス数</td> <td>2,331</td> <td>744</td> <td>495</td> <td>680</td> <td>869</td> </tr> <tr> <td>平均月間イベントカレンダー掲載事業数</td> <td>237</td> <td>109</td> <td>206</td> <td>228</td> <td>236</td> </tr> </tbody> </table>						年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均月間アクセス数	2,331	744	495	680	869	平均月間イベントカレンダー掲載事業数	237	109	206	228
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																		
平均月間アクセス数	2,331	744	495	680	869																		
平均月間イベントカレンダー掲載事業数	237	109	206	228	236																		

②事業成果の点検

目標指標	市民活動ポータルサイト平均月間アクセス数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	件		
目標・実績	目標値	2,600	達成年度	令和9年度	令和3年度	495	令和4年度	680	令和5年度	869
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・市民活動団体等が主催するイベントの情報について、コロナ禍で一部のイベントを中止したことに伴い、一時的に掲載数も減少したが、現在はコロナ禍以前の掲載数まで回復している。これによりサイトへのアクセス数も増加したものの、令和2年度のサイト改修(ホームページアドレスの変更等)以前の水準までは回復しない状態が続いている。 ・公共施設へチラシの設置を行うなど、周知は行っているが、サイトへのアクセス数の伸びにはつながっていない。 ・地域のイベントだけでなく、人材募集や市民活動団体の事業内容に関するお知らせなどが同じページに混在するなどの状態にあるため、より市民が効果的かつ正確な情報を取得できるように工夫が必要である。									
	【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善) ・学びや活動に参加する意義や魅力を伝えるとともに、活動情報や市民活動に有益な支援情報も含めた情報発信のあり方を検討する。また、改善を図る上で、発信する情報の内容や業務委託の仕様等について、抜本的なサイトの見直しも含めて検討を行う。 ・併せて、市ホームページなど既存のツールで発信している情報の内容を整理し、各ツールの機能統合や情報の一元化も視野に入れた検討を行う。									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	568	574	588	568	
委託料	568	574	588	568	サイト運営業務委託
人件費 B	2,625	2,223	2,227	2,275	
職員人工数	0.34	0.29	0.29	0.29	
職員人件費	2,625	2,223	2,227	2,275	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,193	2,797	2,815	2,843	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,193	2,797	2,815	2,843	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	あまがさきチャレンジまちづくり事業費	1E1P
根拠法令	あまがさきチャレンジまちづくり事業補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 平成17年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域で活動する団体・グループが自立して活動できるよう支援を行うことによって地域活動の活性化を図り、協働のまちづくりを推進する。
事業概要	「地域をよりよくするため市民自ら考え、力を合わせて実施する活動」で公益的なものに対し補助を行うことにより地域社会の連帯を深め、まちづくりの推進を図る。
実施内容	<p>地域の課題解決に向けて、市民主体の団体が取り組む公益的な事業について支援を行う。</p> <p>1 あまらぶチャレンジ事業補助(補助金交付額1,406千円(決算額1,032千円)12事業申請、7事業採択) 3人以上で構成される市民活動団体が、市内の複数地区で行う公益的な事業に対して3年を限度に補助金を交付するもの。 補助金額:1年目 上限30万円(補助対象経費の10/10以内)、2年目 上限15万円(補助対象経費の5/10以内)、3年目 上限9万円(補助対象経費の3/10以内)</p> <p>2 あまらぶチャレンジ事業ジュニアコース(補助金交付額230千円(決算額162千円)8事業申請、8事業採択) ・対象事業:市内の高校生グループが行う公益的な事業 補助金額:補助対象経費の10/10以内、上限5万円</p> <p>3 地域活動サポーター事業(活動実績:計93回(報償費5,000円/回)) ・地域コミュニティ活動に知識と経験を有するサポーター(市民活動団体代表等)を地域へ派遣し、地域振興センターと連携して活動団体等へ指導・助言を行うとともに、活動団体間のネットワークの形成を図る。 ※令和5年度から「地域コミュニティ活動支援事業」を「地域団体活動促進事業費(市民運動推進事業費)」へ移管した。</p>

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(あまらぶチャレンジ事業補助・ジュニアコース含む) (適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	19	達成年度	毎年度	令和3年度	27	令和4年度	15	令和5年度	20
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度と比較すると申請団体数は微増である。 あまらぶチャレンジ事業ジュニアコースの申請団体数は、ほぼ横ばいであり、参加した高校生からは活動を通じて、「尼崎のことを知ることができた」「様々な意見を聞くことができ、視野が広がった」などの声が寄せられ、まちづくりに関わるきっかけとなった。 補助金が不交付となった事業や補助期間が終了した事業についても、事業を実施、継続できるよう、補助金交付以外の方法で、活動を支援していく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付、不交付にかかわらず、活動団体が事業を実施できるよう伴走支援を行う。 補助期間が終了した事業については、他の補助制度等も案内しながら支援を行う。 各地区プラットフォームなどを活用し、活動団体と取組に関心のある人や団体が出会う場を創出することで、事業の応援者が増えていくようなコーディネートを行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	3,882	4,205	2,134	2,783	
報償費	625	659	765	600	地域活動サポーター報償費等
需用費	70	75	69	86	浄書印刷等
役員費	66	30	45	41	あまらぶジュニア保険料
使用料及び賃借料	56	25	61	56	ワークショップ等会場費
負担金補助及び交付金	3,065	3,416	1,194	2,000	事業補助金(令和5年度は「地域団体活動促進事業費(市民運動推進事業費)」へ一部事業を移管したことにより減)
人件費 B	10,504	12,594	3,656	3,731	
職員人工数	1.37	1.67	0.45	0.45	
職員人件費	10,314	12,414	3,456	3,531	
会任等人件費	190	180	200	200	あまらぶチャレンジ事業委員報酬等
合計 C(A+B)	14,386	16,799	5,790	6,514	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	858	870	1,194	2,000	市町村振興協会市町交付金
一般財源	13,528	15,929	4,596	4,514	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	あまがさき市民まつり事業補助金	1E1R	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	あまがさき市民まつり事業補助金交付要綱			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	平成25年度		
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
局	総合政策局	課	生涯、学習！推進課	所属長名	森本 仁信

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市制の誕生を祝う趣旨で始まった市民まつりが、市民に親しまれるとともに、市民まつりの企画運営の中で市民及び市内で活躍する団体が互いにコミュニケーションを深めながら、特定の地域や団体にとらわれない活動が活発になっている状態を目指す。
事業概要	安定的な開催の支援のため市民まつり協議会への補助を行う。
実施内容	<p>市民まつりの実施に当たっては、地域団体の代表者等で構成する尼崎市民まつり協議会・実行委員会を組織し、各事業部会に分かれて企画・運営を行った。協議会の事務局については、市民と市の協働で担っている。 (事業部会構成) ステージ部会、子どもひろば部会、出店部会、展示部会、だんじり部会、広報部会、警備安全部会、あまうえる部会、自然環境交流ひろば部会</p> <p>令和5年度は、新型コロナウイルス感染症を考慮した制限の一切を解除し、通常開催した。(令和4年度は会場内飲食禁止)</p> <p>開催日時：令和5年10月1日(日) 午前10時～午後5時 開催場所：市役所周辺、橘公園、橘球場、中央中学校、あまよう特別支援学校、中央北生涯学習プラザ</p>

②事業成果の点検

目標指標	市民まつりの参加者数(来場者数)(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人																				
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>60,000</td> <th>達成年度</th> <td>毎年度</td> <th>令和3年度</th> <td>—</td> <th>令和4年度</th> <td>30,000</td> <th>令和5年度</th> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">(開催中止)</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	目標値	60,000	達成年度	毎年度	令和3年度	—	令和4年度	30,000	令和5年度	60,000					(開催中止)							
目標値	60,000	達成年度	毎年度	令和3年度	—	令和4年度	30,000	令和5年度	60,000														
				(開催中止)																			
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況：(概ね)達成)</p> <p>・令和5年度は、「会場内での飲食の禁止」や「テント間の距離の確保」等の新型コロナウイルス感染症を考慮した制限を解除し、コロナ禍以前の賑わいを取り戻せるよう通常開催した。来場者数は前年比倍増の60,000人を数え、68,000人が来場した令和元年度(コロナ禍前)に近い来場者数であった。</p> <p>・今後は、より魅力的な市民まつりにするため、伝統を大切にしつつも新たな発想も取り入れ、市民まつりの代名詞となるような催しの企画や、若者の参画を進めるなど市民とのより幅広い協働に取り組み、まつり本来の「目的(市制の誕生を祝うとともに市民相互の親睦と連帯意識を高め、尼崎の発展を図ること)」を実現していく必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性：改善)</p> <p>従来の運営体制であった尼崎市民まつり協議会と尼崎市民まつり実行委員会の体制を整理し、尼崎市民まつり運営委員会に統合するとともに、新たな市民にも参画いただくことにより、多くの市民の意見が市民まつりに反映される体制を整える。</p> <p>まつりの目的を運営委員会メンバーが再確認し、企画・立案の段階から、目的の達成に向けた議論を深めるなど運営手法を改め、市内各地域で開催されているまつりとの区別化を図るなど、「尼崎らしさ」を盛り込む中で、市民が楽しみながら尼崎市のことを深く知ることが出来るような運営を行っていく。</p>																						

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	200	2,500	2,500	2,500	
負担金補助及び交付金	200	2,500	2,500	2,500	
人件費 B	11,737	11,420	10,837	14,798	
職員人工数	1.52	1.29	1.16	1.63	
職員人件費	11,737	9,888	8,910	12,789	
会任等人件費		1,532	1,927	2,009	
合計 C(A+B)	11,937	13,920	13,337	17,298	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	11,937	13,920	13,337	17,298	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	尼崎市社会福祉協議会補助金	1E1W	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市社会福祉法人助成条例第4条		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和26年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	61 市民活動推進費				

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市社会福祉協議会(市社協)は本市における地域福祉、地域自治の担い手として、重要な役割を果たしており、市が支援することで経営基盤を安定させ活動の充実を図ることにより、地域福祉、地域自治のより一層の推進を目指す。		
事業概要	地域コミュニティ活動及び地域福祉活動の推進を図るため、市社協に補助金を交付し、自主財源に乏しい本部、支部社協の運営を側面的に支援するとともに、社会福祉連絡協議会(連協)、福祉協会(単協)の活動を助成する。		
実施内容	<p>市社協に対し、次の経費を助成した。</p> <p>1 地域自治活動及び地域福祉活動に係る人件費(決算額:120,250千円) 理事、常務理事、本部・支部職員22人の人件費を助成した。</p> <p>2 地域自治活動に係る事務事業費(決算額:17,646千円) 事務事業費、支部運営費、連協・単協活動費、地域広報活動推進補助費を助成した。</p> <p>【地域自治活動及び地域福祉活動に係る実施事業(支部・連協・単協含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市・市社協・連協・単協間連絡調整 ・善意銀行関連業務 ・各種委員推薦に係る業務 ・老人給食事業 ・日赤社資募集事業 ・地域高齢者福祉推進事業 ・共同募金、ともしびの箱募金 ・高齢者等見守り事業 <p style="text-align: right;">・あんしん通報システム事業 ・コミュニティ活動 ・福祉活動 ・加入促進に係る取組 等</p>		

②事業成果の点検

目標指標	市社協加入率(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%	
目標・実績	目標値	60.0	達成年度	令和9年度	令和3年度	46.1	令和4年度	44.5	令和5年度	42.8
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協は、地域自治機能と地域福祉機能の両面を有し、本市の地域自治活動や地域福祉活動などにおいて、中核的な役割を担っており、市にとって欠かすことのできない団体である。 ・加入率が減少傾向となっている中、市内への転入者に市社協の案内チラシの配布を行うといった加入促進の取組を継続している。 ・市社協の未加入世帯や、単協のない地区等に対する情報発信、地域コミュニティのつながりの希薄化などが課題となっている。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地縁型の組織である市社協は地域自治の中核的な役割を担っており、地域自治のさらなる推進に向け、市社協が実施する加入促進の取組について、本市としても必要に応じて関係部局と連携しながら支援を行う。 ・テーマ型の活動と福祉協会をはじめとする地縁型の活動がともに活性化し、これらが協働した取組が生まれるような状況を目指し、テーマ型の活動者を福祉協会をはじめとする地縁型の地域活動へつなげる働きかけなど、双方の活動者を増やすための取組を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	218,807	259,812	137,896	137,518	
負担金補助及び交付金	218,807	259,812	137,896	137,518	令和3・4年度は社協会館の移転先施設の改修工事費が含まれている。
人件費 B	4,324	4,292	4,378	4,001	
職員人工数	0.56	0.56	0.57	0.51	
職員人件費	4,324	4,292	4,378	4,001	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	223,131	264,104	142,274	141,519	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債	69,700	114,546			一般単独事業債
その他					
一般財源	153,431	149,558	142,274	141,519	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	地域資源情報公開システム事業費	1E22
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和2年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設等の地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、市民サービスの向上を図るとともに、市・尼崎市社会福祉協議会(市社協)・地域活動の担い手など各主体間における情報共有を推進する。
事業概要	福祉、社会教育関係等の地域資源の情報を公開し、エリアごとに検索できるシステムを運用する。
実施内容	<p>○地域情報共有サイト「あましえあ」の運用(決算額:5,346千円 委託料)</p> <p>1 サイト概要 地域の交流や集いの場、相談窓口、コミュニティ拠点施設、市民活動団体等の幅広い地域資源情報を、分野やエリアごとに検索できるシステムを運用することにより、地域資源の可視化及び市民サービスの向上を図る。 また、関係者専用サイト内のみで取り扱う地域情報や活動記録を活用することで、市、市社協等の関係者間の情報共有を推進する。</p> <p>2 実施内容 サイトの運営管理及び関係者による地域資源情報のメンテナンス(登録・更新・削除)の補助等を行う。 情報共有や活用が推進されるよう効果的な運用を図る。</p>

②事業成果の点検

目標指標	—(適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)								単位	—	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者の地域資源情報の登録、利用等を引き続きサポートし、情報共有が活発に行われるよう、各地域課、各支部社協、生涯、学習！推進課で構成されるあましえあ担当者会にて操作説明会や意見交換等を行った。 あましえあ担当者会での意見を踏まえ、活用の幅が広がるよう、データのCSV出力が可能となる整備を行った。 「あましえあ」と「シニア元気アップパンフレット」との情報連動を行い、業務の効率化につなげた。 掲載している地域情報は随時情報更新しており、それに加えて令和5年度からは年に一度、登録情報の一斉確認・更新を行うことで、最新情報を提供できるようにした。 上記の取組により、関係者によるサイトの活用は着実に進んでいると考えるが、引き続き情報共有のツールとして、より効果的な運用を行っていく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あましえあ」については、市、市社協、地域活動の担い手などの関係者間における円滑な情報共有を可能にするとともに、公営・民営を問わず、地域の交流や集いの場、相談窓口などの地域情報を掲載するサイトであることから、地域活動の活性化、自治のまちづくりの推進に向けての当該取組の必要性は高い。また、掲載している地域情報は2,778件(R6年5月時点)となっており、今後も継続して必要な地域情報の掲載に努める。 地域資源の共有が円滑に進むよう、あましえあ担当者会にて「あましえあ」の効果的な活用方法等の検討を行う。 「あまがさき共創DXプラン」に記載の「誰もが必要な情報を得て活動参画できる仕組みづくり」の1つとして、各主体が必要な社会資源等につながれるよう、引き続き「あましえあ」の機能向上、周知等に努める。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	4,950	4,836	5,346	4,686	
委託料	4,950	4,836	5,346	4,686	システム運用保守等業務委託
人件費 B	2,162	2,146	2,151	2,668	
職員人工数	0.28	0.28	0.28	0.34	
職員人件費	2,162	2,146	2,151	2,668	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	7,112	6,982	7,497	7,354	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	4,464	1,997	264		市町村振興協会市町交付金
一般財源	2,648	4,985	7,233	7,354	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	特定非営利活動促進事業費	1E23
根拠法令	特定非営利活動促進事業補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 令和2年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	協働推進課	所属長名	西田 真弓
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市内におけるNPO法人の社会貢献、地域の課題解決や魅力向上に資する取組の促進を目指す。																							
事業概要	NPO法人が行う特定非営利活動事業に共感し、応援するために市民や事業者から寄せられた寄付金の範囲内の額を、特定非営利活動の促進のため、市がNPO法人に交付する。																							
実施内容	地域の課題解決に向けて、NPO法人が取り組む公益的な事業について支援を行う。 ・主たる効果が尼崎市内で生じる、または、主に尼崎市民を対象とした公益的な事業を行うNPO法人に対し、市民等からの寄付金額を上限に交付する。 ・寄付金の年度間調整を行うために、特定非営利活動促進基金を設置している。																							
	○令和5年度実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>採択事業数</th> <th>事業申請額</th> <th>寄付件数</th> <th>寄付金額 ①</th> <th>前年度繰越額 ②</th> <th>交付可能額 ③=①+②</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常版</td> <td>13事業</td> <td>20,393,839円</td> <td>226件</td> <td>4,931,338円</td> <td>1,134,294円</td> <td>6,065,632円</td> <td>5,088,519円</td> </tr> <tr> <td>企業版</td> <td>2事業</td> <td>1,300,000円</td> <td>1件</td> <td>300,000円</td> <td>-円</td> <td>300,000円</td> <td>100,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※交付額を超過した交付可能額は、翌年度以降の活用を予定している。 ※企業版は申請年度の翌年度に実施する事業が対象のため、交付可能額は翌年度に交付を行う。 ※(参考)令和4年度実績:寄付件数369件、寄付金額8,255千円(うち企業版1件、寄付金額100千円)</p>		採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額 ①	前年度繰越額 ②	交付可能額 ③=①+②	交付額	通常版	13事業	20,393,839円	226件	4,931,338円	1,134,294円	6,065,632円	5,088,519円	企業版	2事業	1,300,000円	1件	300,000円	-円	300,000円
	採択事業数	事業申請額	寄付件数	寄付金額 ①	前年度繰越額 ②	交付可能額 ③=①+②	交付額																	
通常版	13事業	20,393,839円	226件	4,931,338円	1,134,294円	6,065,632円	5,088,519円																	
企業版	2事業	1,300,000円	1件	300,000円	-円	300,000円	100,000円																	

②事業成果の点検

目標指標	申請団体数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	団体	
目標・実績	目標値	35	達成年度	令和9年度	令和3年度	13	令和4年度	10	令和5年度	13
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・前年度申請10団体のうち7団体から継続して申請があり、更に6団体から新規申請を受けたことで、申請団体数は増加した。一方で、全体の寄付金額及び寄付件数は前年度と比較すると減少したものの、令和4年度からクラウドファンディング及び企業版ふるさと納税制度を活用し資金調達の幅を広げたことによる一定の成果があった。 ・申請団体に対する寄付金額に差があるため、効果的な広報手法についての助言などを行うなどにより申請団体の定着を図るとともに、新たな団体からの申請につながるよう引き続き制度周知に努める必要がある。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・現在の制度は、寄付された年度に活用することとしているが、例えば将来の大規模な事業への活動資金として寄付金を集めることなど、制度についての要望が一定ある場合は、より良い制度にするために随時見直しを行う必要がある。 ・この制度の参加団体及び寄付金額の増加は、より多くの地域課題の解決や魅力向上の推進につながることから、NPO法人からの相談等に丁寧に寄り添いながら対応するとともに、市内のNPO法人に制度を理解し、申請してもらえるよう、より効果的な周知方法を検討する。 ・企業版ふるさと納税制度は、令和6年度までとなり、国の動向を踏まえ、必要に応じて制度の見直しを行う。									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	3,011	7,640	5,204	4,216	
需用費	12	11	14	14	消耗品費
使用料及び賃借料		2	2	2	市民まつり協力金
負担金補助及び交付金	2,999	7,627	5,188	4,200	特定非営利活動促進事業補助
人件費 B	3,475	3,909	3,456	3,060	
職員人工数	0.45	0.51	0.45	0.39	
職員人件費	3,475	3,909	3,456	3,060	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	6,486	11,549	8,660	7,276	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	2,999	7,627	5,188	4,200	特定非営利活動促進基金繰入金
一般財源	3,487	3,922	3,472	3,076	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	中央地区学びと活動推進事業費	1E2Q
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	中央地域課	所属長名	津田 江美
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：人権推進講座、オピニオンリーダー研修、平和学習推進事業など 10事業 491人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：子どもふれあいスクール事業、子育て講座など 28事業 3,497人 ・生涯学習推進事業：市民大学、リクエスト講座、日本語よみかき学級 4事業 1,960人 ・地域力創生事業：地域・現代学講座 22事業 4,125人 ・市民参加・交流・連携推進事業：地域交流事業、ふれあい学級事業など 29事業 6,808人 ・地域予算事業：地域の勉強会の開催(5回、200人)、こどもの居場所確保に向けた「たけやキッズパーク」の実施(7回、延べ122人)、毎月10日は中央おしゃべりデー(12回、延べ172人)、福祉会館PRリーフレットの発行(難波福祉会館) ・尼崎学びのサポート事業：教育支援室「サテライト教室」1事業 199人 ・阪神尼あんしんまちづくり事業：中央地区防犯パトロール7回実施 ・中央ぶらぶら通信の発行 発行回数：4回

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	10,488	令和4年度	19,743	令和5年度	17,574
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域発意の防災訓練や防災講座を伴走支援し実施したことで、地域防災力の向上につながり、地域の協力体制の再確認ができた。 ・中央北生涯学習プラザで実施している「にこにこひろば」や、中央南生涯学習プラザで実施した0歳児親子向けイベント等、子育て世帯対象のイベントが満員になるほど参加があり、親子で集える場づくりができたことで地域での子育て力の向上につながった。 ・プラットフォーム「毎月10日は中央おしゃべりデー」を12回開催し、そのうち5回をプラザ以外の施設で開催したことで、地域にある様々な施設の存在と魅力を知ってもらう機会となり、また、プラザ内事業では出会う機会がなかった市民とのつながりが生まれた。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練等の取組実績を身近な好事例として、各種広報媒体で発信し、地域発意の取組を広げていく。 ・子育てイベントの中で参加者同士の交流は一定数あったが、交流から別の取組への発展には至っていないため、次につながるような仕掛けを検討していく。 ・おしゃべりデーでの参加者からの相談等を受けたものの、速やかな解決や次の展開へと結びついていないことがあるため、相談やアイデアをデータベース化し課内で振り返りと共有を行うことで、解決・実現に向けたフォローを強化する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,560	1,387	2,075	2,793	
報償費	1,006	762	1,099	1,200	講師等謝礼
需用費	419	480	768	1,223	広報誌印刷製本費等
使用料及び賃借料	114	117	125	130	ソフトウェア使用料、会場使用料
負担金補助及び交付金	4	8	23	100	あま咲きコイン
その他	17	20	60	140	レクリエーション保険料等
人件費 B	44,301	34,326	41,280	36,239	
職員人工数	5.12	3.89	4.64	3.83	
職員人件費	39,537	29,817	35,671	30,050	
会任等人件費	4,764	4,509	5,609	6,189	
合計 C(A+B)	45,861	35,713	43,355	39,032	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	370	98	100	100	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	45,491	35,615	43,255	38,932	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	小田地区学びと活動推進事業費	1E2R
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	小田地域課	所属長名	星川 昌則
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重・多文化共生:小田日本語よみかき学級、ハートフルシネマなど 78回 5,823人 ・学校教育:インクルーシブ教育学習会、「夢見る小学校」上映会など 36回 1,422人 ・子ども・子育て支援:潮江子育て学級、やさしいピラティス&ヨガなど 116回 3,682人 ・地域福祉・障害者支援、高齢者支援、健康支援:コミュニティナースの活動を知ろうなど 95回 3,691人 ・消防・防災、生活安全:あまおだ減災フェス、尼崎と気仙沼の高校生と考える防災など 7回 467人 ・地域経済・雇用就労、環境保全・創造、都市機能・住環境:「プラスチックの海」上映会、SDGsフェアなど 3回 533人 ・その他:おいでよ!小田、YURURIなど 198回 17,701人 ・地域情報誌発行事業:「小田がまち瓦版」発行回数11回 発行枚数延べ28,600枚 ・プラットフォーム:おだらぶ土曜雑談会 11回 112人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	22,404	令和4年度	28,123	令和5年度	33,431
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・マーケットイベント「おいでよ!小田」では、市民で構成される実行委員会がイベントの企画や準備、反省会の実施など主体性をもって楽しみながら企画・運営に取り組んだほか、出店・出演者を公募することで、今まで関わりがなかった市民同士が交流する場を創出することができた。「SDGsフェア」についても、令和5年度から実行委員会を立ち上げ、多様な主体で企画を行うことで、新たな企業や市民活動団体などの参加があり、各小・中・高校の取組についての発表など、来場者に幅広い分野の学びや体験の機会を提供することができた。今後も更に市民主体の取組となっていくよう、実行委員会の自立を目指して支援していく必要がある。</p> <p>・外国籍住民の防災意識を養いたいという市民の発意により、外国人を対象としたイベント「外国人のためのFutsalFoodFestival」を実施した。参加しやすいようフットサルや日本文化を切り口にするなどの工夫により、延べ100人以上が参加した。今後も定期的に多文化交流イベントを実施することで、災害時にもプラザに来てもらいやすい状況を作るなど、防災についての啓発を行い認知度を高めていく。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・全館イベント等により、個人や団体の活躍の場やつながりを深め広げる場を提供していくとともに、参加者の幅広い学びと体験の機会を増やし、学びと活動の循環につなげていく。</p> <p>・地域担当職員が地域発意の情報を聞き取り、地域や学校の連携強化に取り組むとともに、それまでつながりがなかった個人や団体同士をつなげ相乗効果を生み出すコーディネートを行うことで、活動の伴走・支援を行う。また、令和6年度からは職員がおだらぶ土曜雑談会のファシリテーター役となることで、参加者との更なる関係性の構築を行う。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,389	1,075	1,209	2,120	
報償費	485	514	593	971	講師謝礼
需用費	837	492	482	781	各種事業消耗品等
負担金補助及び交付金	61	38	39	221	あま咲きコイン
役員費	6	31	17	118	保険料
その他			78	29	使用料、旅費
人件費 B	34,458	56,359	49,145	47,348	
職員人工数	4.80	7.08	6.35	5.97	
職員人件費	33,359	54,268	46,824	44,524	
会任等人件費	1,099	2,091	2,321	2,824	
合計 C(A+B)	35,847	57,434	50,354	49,468	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	435	120	60	120	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	35,412	57,314	50,294	49,348	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	大庄地区学びと活動推進事業費	1E2S	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	大庄地域課	所属長名	中島 正貴
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業 ハートフルシネマ、人権問題講演会など 16回 4,980人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業 大庄子育てサロン、夏休みオープンスクールなど 53回 813人 ・生涯学習推進事業 大庄市民大学、日本語よみかき学級など 56回 600人 ・地域力創生事業 ことはじめかいぎ、旧大庄公民館見学会など 84回 1,912人 ・市民参加・交流・連携推進事業 生涯学習プラザまつり、地域情報誌「O2」編集会議など 13回 1,175人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	3,763	令和4年度	6,499	令和5年度	9,480
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <p>・令和5年度は、事業とプラットフォームの連携という試みを以下の形で行った。 地域情報誌「O2」第2号の取材先で「ことはじめかいぎ」を開催する。 「ことはじめかいぎ」参加者の活動を「O2」第3号で取り上げる。 (新)南の口公園での社会実験等に係るアイデアを「ことはじめかいぎ」で話し合う。 これらの結果、今まで関わりがなかった市民同士の新たな交流やアイデアが生まれた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・「ことはじめかいぎ」等のプラットフォームについては、今後も地域情報の把握や市民との関係性を築く場として積極的に活用していくとともに、「ことはじめかいぎ」のお出かけ開催先や、地域情報誌「O2」の取材先、その他地域課事業等の参加者との関係を一過性のものとしないう、多面的な関わり方を模索し、つながりを広げながら深めていく。また、「ことはじめかいぎ」参加者の「やりたい」という要望については、参加者だけでなく関係部局とも協力し、実現をサポートしていく。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,265	6,170	975	2,045	
報償費	864	725	707	1,368	講師謝礼
需用費	393	438	262	475	事業用消耗品費
使用料及び賃借料			0	30	会場使用料
委託料		5,000			大庄西中跡地活用に係る委託料
その他	8	7	6	172	あま咲きコイン、旅費、ボランティア保険料等
人件費 B	36,021	36,177	41,309	31,546	
職員人工数	6.20	6.25	5.35	5.16	
職員人件費	31,150	31,753	36,672	24,438	
会任等人件費	4,871	4,424	4,637	7,108	
合計 C(A+B)	37,286	42,347	42,284	33,591	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	295	38	42	80	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	36,991	42,309	42,242	33,511	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	立花地区学びと活動推進事業費	1E2T
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	立花地域課	所属長名	神崎 宏治
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業: 平和講座(講演会、パネル展) 2回 52人、人権講座(人権啓発映画会、日本語ボランティア養成講座、ひかり学級インクルーシブ講座等) 22回 395人 9団体 ・家庭・地域子育て力向上支援事業: たちばなウェルカムスタンプリナー 1回(9日間) 延べ 871人(参加施設12か所、実施イベント22件)、その他(マタニティセミナー、子育てカフェハロー-たちばな、ユースイベント等) 181回 2,581人 ・生涯学習推進事業: 市民大学 10講座 290人 ・地域力創生事業: フレイル予防体操教室、認知症サポーター講座等 41回 3,168人 ・市民参加・交流・連携推進事業: たちばなまつり、立北ふれあいまつり 2回 4,928人 ・地域活性化事業: 立花かいわい会 24回 452人(立花かいわい会をきっかけとして生まれた活動 5件)、たちばなのマナビパ 44講座 1,402人、その他(となりのマイノリティさん、うわさプロジェクトワークショップ等) 14回 233人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)				単位	—
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	—
				令和3年度	7,421	令和4年度 8,506 令和5年度 14,372
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、地域のプラットフォーム「立花かいわい会」から派生した活動(AMUAMU等)を継続的に実施した。 ・ユース世代向け事業として「PLAZA de café time」を毎月実施し、若者の居場所づくり、活動の場の創造、ユース世代との関係性づくりを図った。 ・市民大学では意見交換の時間を活用して振り返りや新たな気付きを得るなど、個人の学びを深めることにつなげた。 ・地域にとって必要な学びや交流の機会として事業を企画したものの、参加者数が当初見込みを下回るものもあり、より効果的で、魅力ある広報について引き続き検討していく。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動になじみの薄い世代や、関わるきっかけが少ない方々が地域活動に関心を持つきっかけを作り、地域活動に関わる住民のすそ野を広げていく。 ・ユース世代にとっての居場所や、活動の場の創造につながるよう、継続的にユース事業を展開する。また、若者発意の企画や運営については、関係各所との連携を密にし、実現に向けてサポートする。 ・体験や学びが自己の成長や生きがい、ひいてはまちの課題解決にもつながっていくといった「生涯、学習！」の基本理念の浸透を意識し、取組を進め、市民発案の意見に寄り添い、市民の自発的活動が活発になるよう、伴走支援を行う。 ・校区担当者が積極的に地域に出ることで、新たな地域資源の発掘や、地域との更なるつながり、関係性を深める取組を推進する。 					

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,315	1,387	1,280	1,892	
報償費	956	959	879	1,150	講師謝礼
需用費	336	311	322	488	各種事業消耗品等
役務費	7	80	67	83	Wi-Fi使用料、レクリエーション保険
使用料及び賃借料	4			51	会場使用料等
その他	12	37	12	120	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	52,774	42,685	38,660	47,717	
職員人工数	6.50	5.37	4.76	6.21	
職員人件費	49,127	40,513	36,171	45,076	
会任等人件費	3,647	2,172	2,489	2,641	
合計 C(A+B)	54,089	44,072	39,940	49,609	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	343	78	78	80	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	53,746	43,994	39,862	49,529	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	武庫地区学びと活動推進事業費	1E2U	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等			展開方向
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和3年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	61 市民活動推進費			01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	武庫地域課	所属長名	田岡 清
---	-------	---	-------	------	------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業：イベントなど実施12回、参加人数3,861人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業：夏休みの子ども向け講座など18講座33回実施、参加人数628人 ・生涯学習推進事業：市民大学、日本語よみかき学級2講座47回実施、参加人数1,238人 ・地域力創生事業：19講座68回実施、参加人数5,021人 ・市民参加・交流・連携推進事業：7講座8回実施、参加人数1,764人 ・地域予算事業：mukoキャンパスみんなのホームルーム等3講座実施43回、参加人数608人 ・清流にこころふれあう道づくり事業：拠点整備、イベント、武庫小学校との連携事業等活動回数66回、参加人数886人 ・ウェルカムパーティ事業：イベント実施7回、参加人数424人

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)						単位	人			
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	7,971	令和4年度	7,570	令和5年度	14,430
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況： —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム「mukoキャンパスみんなのホームルーム」は、毎月1回武庫西生涯学習プラザで実施しており、地域住民の交流の場や居場所となることで参加者同士の新たなつながりが生まれ、市民発意の地域イベントの開催につながった。一方で参加者が固定化しつつあるため、新規参加者を呼び込む手法を検討する。 ・生涯学習プラザ登録グループの会員数、グループ数がいずれも年々減少傾向にあることから、グループ活動のPRや活性化へつながる支援策を検討する。 ・ペット同行避難も想定した避難所開設訓練を地域住民と一緒に実施したことで、避難所を地域住民とつくりあげていくことの重要性を再認識するとともに、地域の関心の高い「防災」をテーマに地域住民同士の顔の見える関係づくりの一助となった。 ・宮の北公園での定期的な清掃活動を通じて、公園への愛着を醸成するとともに、市民や地域事業者、学校等とのコミュニティ形成につながった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性： 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム「mukoキャンパスみんなのホームルーム」を武庫東・武庫西生涯学習プラザで隔月で実施することで、武庫東生涯学習プラザの利用者や周辺住民へアプローチを行う。また、武庫東生涯学習プラザの旧喫茶跡のスペースを活用した交流の場づくりに取り組む。 ・武庫東・武庫西生涯学習プラザまつりを合同で開催することで、登録グループ間の交流を図るとともに、グループ活動の活性化、新規メンバーへのPRへとつなげる。 ・引き続き、定期的にボランティア活動に参加している市民からの関心が高く、身近な地域課題をテーマにした事業を展開し、顔の見える関係づくりに取り組むことを通じて、更なる地域コミュニティの交流促進を図る。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,244	1,246	1,280	2,563	
報償費	623	541	584	1,382	講師謝礼
需用費	160	236	217	541	消耗品
役務費	12	12	11	11	保険料
委託料	448	448	448	448	清流にこころふれあう道づくり事業
その他	1	9	20	181	旅費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
人件費 B	15,538	17,008	18,248	18,441	
職員人工数	1.95	2.16	2.44	2.36	
職員人件費	14,066	15,583	17,179	17,306	
会任等人件費	1,472	1,425	1,069	1,135	
合計 C(A+B)	16,782	18,254	19,528	21,004	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	186	80	76	80	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	16,596	18,174	19,452	20,924	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	園田地区学びと活動推進事業費	1E2V
根拠法令	社会教育法、尼崎市自治のまちづくり条例等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	園田地域課	所属長名	坂本 満代
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	生涯にわたる様々な学びの機会を提供するとともに、地域におけるお互いの顔の見える関係づくり、ひいては地域発意の課題解決や魅力向上の取組が広がる環境づくりを進める。
事業概要	各地区において、学びや交流の場づくりに取り組むにあたり、生涯学習プラザ等で学びと活動推進事業を展開する。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権・平和学習推進事業: やさしい日本語講座&実践編など 5講座 7回 55人 ・家庭・地域子育て力向上支援事業: 夏休みオープンスクールなど 7講座 17回 236人 ・生涯学習推進事業: 市民大学など 8講座 17回 445人 ・地域力創生事業: キャリア教育支援事業など 3講座 11回 1,030人 ・市民参加・交流・連携推進事業: 園田ステージアートフェスなど 10講座 34回 1,020人 ・共催事業: 「園田の魅力」写真展など 35講座 88回 6,004人 ・特色ある地域活動推進事業: そのだ子育てカフェ 12回 381人、自然と文化の森プラットフォーム: プラットフォーム 5回 39人 自然と文化の森協会の事業支援 51回 3,266人、地域予算事業: 園田地区プラットフォーム「そのだではなすのだ」(参加者数は市民参加・交流・連携推進事業に計上)

②事業成果の点検

目標指標	イベント・講座の参加者数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)								単位	人	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	6,361	令和4年度	10,361	令和5年度	12,444
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園田で学びWeek」では、健康に関する講座や体験型の講座は人気が高く、参加者同士の交流が生まれやすいことが分かった。また、生涯学習プラザ以外の地域内にある施設での講座を開催することで、より多くの地域住民が気軽に学びを得られるきっかけを作った。 ・自然と文化の森プラットフォーム事業では、新たにプラットフォームを地域の施設(東園田町総合会館)でも開催することで、新たな参加者を得ることができた。また、参加者発意で地域の自然や歴史的な資源を活用したイベント等を実施し、園田地域の魅力に触れる機会を創出した。 ・園田地区のプラットフォーム「そのだではなすのだ」については、地域発意による講座・イベントの相談から実施まで伴走支援を行うことで学びと活動の循環につなげた。また、これまでは開催場所が生涯学習プラザのみであったが、地域の魅力ある場所に赴くことで、新たな層の参加のきっかけや交流の機会となった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園田で学びWeek」では、生涯学習プラザ以外の地域内にある施設での講座の開催や、地域の方が講師となる講座の企画をこれまで以上に拡大することで、より多くの地域住民が気軽に学びを得られるきっかけを作る。そのきっかけにより学ぶことに興味を持った方が学びを継続し、学んだことを地域に還元できるよう、学びと活動の循環につなげていく。 ・自然と文化の森プラットフォーム事業では、令和5年度の取組を通じてつながった新たな参加者とともに継続的な事業展開を図っていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	765	890	1,044	1,984	
報償費	488	562	648	1,116	講師謝礼
需用費	219	273	363	619	消耗品等
役務費	2	46	10	55	レクリエーション保険
使用料及び賃借料		1	6	44	会場使用料
その他	56	8	17	150	あま咲きコイン、旅費等
人件費 B	20,351	21,688	29,041	33,455	
職員人工数	2.60	3.00	3.68	4.12	
職員人件費	17,493	19,450	27,485	31,720	
会任等人件費	2,858	2,238	1,556	1,735	
合計 C(A+B)	21,116	22,578	30,085	35,439	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	120	78	72	80	市民福祉振興基金(R3)、生涯学習プラザ事業収入
一般財源	20,996	22,500	30,013	35,359	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	大庄西中学校跡地活用等整備事業費	1E3D
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和5年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	61 市民活動推進費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	総合政策局	課	大庄地域課	所属長名	中島 正貴
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	多様な主体同士が情報共有や相互理解を深めるような場づくりを進め、地域の課題解決や魅力向上の取組が地域発意で行える地域社会づくりを目指す。
事業概要	令和4年度に策定した「大庄西中学校跡地等の活用方針」に基づき、協働型公園及びコミュニティスペースの実現に向け、令和5年度は地域の魅力を高めるとともに地域コミュニティの活性化を図るため、公園等で社会実験を実施する。
実施内容	令和8年度供用開始予定の「(新)南の口公園」で、協働型公園の実現に向けて、11月25日・26日の2日間で社会実験「Enjoy! OH! SHOW! タコフェス」を開催した。社会実験は、昨年度(令和4年度)実施した大庄西中学校跡地活用に向けた意見交換会、今年度(令和5年度)実施した「シン南の口公園サポーター会議」を通じて協議してきたもので、サポーターの自由な発想と責任により、同敷地を活用した取組を実施した。 <実施概要> ・シン南の口公園サポーター会議…6月24日、7月15日、8月13日、10月7日、12月23日の計5回開催 ・市民参加型ワークショップ「OH! SHOW! タコピッチ」…9月10日開催 ・社会実験「Enjoy! OH! SHOW! タコフェス」…11月25日・26日開催 社会実験はドッグラン、マルシェ、音楽イベントによる居心地を高める環境づくり(ソフト面)と、フットサル、バスケットボール、グラウンドゴルフ、アスレチック、ペタンクといったスポーツ面での空間整備(ハード面)の内容で実施した。

②事業成果の点検

目標指標	—(協働型公園等の実現のために社会実験を通じて課題検証を行う事業であり、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)								単位	—	
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会実験を行うことにより、地域住民と共に、協働型公園の実現に向けた課題(運営手法の適否、臭い、騒音、ごみの投棄等)を確認できた。 ・社会実験の参加者及び近隣住民を対象とするアンケート実施等により、将来の公園利用者のニーズの把握ができた。 ・サポーターへの協働型公園の理念の浸透やルール作り等が現段階で不十分であり、協働型公園の実現に向けた更なる理念浸透のため、意見交換を行いながら、団体の組織化等を進めていく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働型公園の理念や社会実験の目的を、引き続き丁寧にサポーターや地域住民等に説明するとともに、社会実験で得られた検証結果や課題等を共有し、「(新)南の口公園」のルール作りや、協働型公園の担い手となる実行委員会等の組織化に向け、取組を進めていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	0	0	6,996	13,352	
委託料			6,996	12,280	社会実験運営支援業務委託、設計・測量業務委託等
工事請負費				1,072	整地工事・雨水排水工事
					令和5年度は「大庄西中学校跡地活用等整備事業費」を新設 令和6年度からは「大庄西中学校跡地整備事業費」に名称変更
人件費 B	0	0	2,304	4,786	
職員人工数			0.30	0.61	
職員人件費			2,304	4,786	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	0	0	9,300	18,138	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債				7,400	地域活性化事業債
その他					
一般財源	0	0	9,300	10,738	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	学社連携推進事業費	BZ25
根拠法令	社会教育法	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成27年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	05 社会教育総務費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	教育委員会事務局	課	社会教育課、学び支援課	所属長名	吉岡 辰郎、山田 雅行
---	----------	---	-------------	------	-------------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の活動や学習を支援し、その取組を充実することで地域での人材育成や資源発掘を行い、その結果を地域社会に活かすことのできる人づくり、仕組みづくりを推進し、子どもたちや地域へ還元する機会の創出を図る。地域での人材育成や資源発掘により、地域ぐるみで子どもを育てるために効果的な学校支援を目指す。
事業概要	地域と学校の連携・協働活動事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業、スクールサポーター人材バンク事業
実施内容	<p>1 地域と学校の連携・協働活動事業 地域の豊かな社会資源を活用して、より効果的な学校支援が行えるよう調整する「地域学校協働活動推進員」を、全市立小学校に配置するとともに、市立中学校、高等学校、特別支援学校においてもコミュニティ・スクールの導入に合わせ、順次配置する。また、地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う地域学校協働活動事業の推進を図る。</p> <p>2 学校図書ボランティア育成事業 小学校の学校図書ボランティアの育成と資質の向上を図るとともに、新たな人材を発掘するため、講演会、研修会、活動発表交流会を実施する。</p> <p>3 特別支援ボランティア養成事業 特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深めるため、その学びが活動につながるよう、支援を必要としている子ども達をサポートするボランティアを養成する講座を実施する。</p> <p>4 スクールサポーター人材バンク事業 新たな人材を発掘して登録することにより、地域の教育力向上につなげる。</p>

②事業成果の点検

目標指標	地域の小中学校で行事やボランティア等に参加したことがある人の割合						単位	%		
目標・実績	目標値	30.0	達成年度	令和9年度	令和3年度	24.7	令和4年度	26.9	令和5年度	29.1
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校全41校、高等学校1校に加え、新たにコミュニティ・スクールを導入した中学校3校においても、地域学校協働活動推進員を配置した。 ・学校と地域課との連携によるキャリア教育や防災訓練、まち探検等が実施され、特色ある活動につながった。 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図るため、保護者や地域住民等に対して、その効果や魅力について継続的に周知を行い、活動への参画の輪を広げる必要がある。 ・学校管理職及び教職員に対して、地域人材の活用が、子どもたちの学びの充実や教員の負担軽減につながることに ついての継続した周知を図る必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで地域学校協働活動推進員の配置を行っていなかった市立中学校、高等学校、特別支援学校においても、コミュニティ・スクールの導入に合わせ、順次、地域学校協働活動推進員の配置を行う。 ・地域学校協働活動に係る好事例の情報を収集し、学校現場等との共有を図ることにより、各学校の強みを生かした取組につながるよう継続した支援を行っていく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	5,036	5,302	7,802	11,451	
報償費	3,516	3,298	3,355	5,011	地域学校協働活動推進員謝礼等
需用費	536	288	65		地域学協働活動消耗品等
役務費	33	34	36	46	地域学校協働活動推進員保険料
委託料	947	1,678	4,346	6,387	地域学校協働活動事業委託料
使用料及び賃借料	4	4		7	研修会会場使用料
人件費 B	15,454	5,712	4,557	8,201	
職員人工数	1.21	0.42	0.48	0.79	
職員人件費	11,274	3,596	3,687	6,198	
会任等人件費	4,180	2,116	870	2,003	
合計 C(A+B)	20,490	11,014	12,359	19,652	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	1,929	2,170	3,284	4,337	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金(国 1/3)
市債					
その他					
一般財源	18,561	8,844	9,075	15,315	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	成人教育事業費	BZ41	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	ユネスコ活動に関する法律		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和20年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				

局	教育委員会事務局	課	社会教育課	所属長名	吉岡 辰郎
---	----------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	ユネスコ活動を振興するとともに、市民に平和都市宣言の趣旨を啓発するほか、社会教育施設などで実施される平和事業の情報を発信し、平和について考える機運を高める。
事業概要	ユネスコ活動を振興するとともに、平和に係る事業の情報を発信する。
実施内容	<p>1 ユネスコ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコセミナー:参加者48名 平和事業(平和の鐘を鳴らそう):参加者80名 文化アカデミー:参加者41名 コーアクション事業(世界寺子屋運動(全ての人が公平に教育の機会を得られるように応援する活動)による支援) 募金・寄付活動:167,629円、書きそんじハガキ・キャンペーン:193,182円を日本ユネスコ協会連盟に寄付 人権学習講演会:参加者37名 <p>2 平和教育チラシの作成</p> <p>各施設で実施する平和事業の情報をチラシにまとめ、市のホームページ(ダイバーシティ推進課)に掲載した。</p>

②事業成果の点検

目標指標	ユネスコ活動事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	150	達成年度	毎年度	令和3年度	121	令和4年度	157	令和5年度	206
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ユネスコ憲章の精神のもと、「平和な世界の構築」と「持続可能な社会の推進」を目指し、「平和の鐘を鳴らそう事業」、「ユネスコセミナー」、「コーアクション事業」など、市民の方々に参画を呼びかけながら、地域に根ざした様々な活動を実施した。 コーアクション事業(世界寺子屋運動)では、各種事業実施時に積極的に募金活動を行うとともに、小・中学校の児童生徒や市内郵便局など、幅広い支援をいただきながら書きそんじハガキ・キャンペーンを実施した結果、計360,811円の募金を日本ユネスコ協会連盟に寄付することができた。 より多くの方々に、ユネスコ活動に参加していただけるよう、事業実施に係る広報を行う必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和を願う人々の輪を広げ、人々の心に平和の砦を築き、真の平和につながるよう、引き続き、市民の方々の参画を得ながら、ユネスコ活動の振興を図っていく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	74	74	74	74	
負担金補助及び交付金	74	74	74	74	ユネスコ活動事業補助金
人件費 B	2,828	1,487	1,551	942	
職員人工数	0.14	0.13	0.07	0.12	
職員人件費	1,081	607	538	942	
会任等人件費	1,747	880	1,013	0	
合計 C(A+B)	2,902	1,561	1,625	1,016	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,902	1,561	1,625	1,016	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	PTA連合会等補助金	BZ5K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和33年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	05 社会教育総務費				
局	教育委員会事務局	課	社会教育課	所属長名	吉岡 辰郎

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市PTA連合会及び尼崎市連合婦人会の設立趣旨を実現するため、地域に密着した活動の展開を支援することにより、活力ある地域コミュニティの醸成を図る。
事業概要	尼崎市PTA連合会及び尼崎市連合婦人会の活動支援を図る。
実施内容	<p>1 尼崎市PTA連合会補助金 156,000円 [補助金対象事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA広報誌の発行事業 「PTAあまがさき」第58号の発行(計41,500部の配布) ・会員への研修会、講演会の実施事業 <p>尼崎市教育委員会教育次長による『これからのPTA活動と尼崎市の教育』の研修会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部会の活動事業 <p>幼稚園、小学校、中学校、高等学校の各部会による情報交換会や講演会等の実施</p> <p>2 尼崎市連合婦人会補助金 184,000円 [補助金対象事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく事業 <p>地域社会の特性を生かし、連携・共催する活動や地域の人々の交流を図り、地域の活性化を図る目的として「わくわく事業」を実施(参加人数1,543名)</p>

②事業成果の点検

目標指標	(本事業は社会教育団体への活動補助として補助金を交付するものであり、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)	単位	—								
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎市PTA連合会では、児童・生徒の健全な育成を図るため、広報誌発行事業や会員向けの研修会等を実施した。 ・尼崎市連合婦人会では、女性の地位向上と地域のコミュニティ作りのため、地域に根差した様々な事業展開を行った。 ・尼崎市PTA連合会及び尼崎市連合婦人会の事業経費の一部を補助することにより、両団体の設立趣旨に基づいた活動の支援を行った。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>尼崎市PTA連合会及び尼崎市連合婦人会による地域に密着した活動の展開は、活力ある地域コミュニティの醸成につながることから、引き続き、運営支援等を行っていく。</p>										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	340	340	340	340	
負担金補助及び交付金	340	340	340	340	尼崎市PTA連合会、尼崎市連合婦人会
人件費 B	3,279	1,335	1,577	775	
職員人工数	0.34	0.09	0.12	0.09	
職員人件費	2,625	690	922	706	
会任等人件費	654	645	655	69	
合計 C(A+B)	3,619	1,675	1,917	1,115	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,619	1,675	1,917	1,115	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	図書館行事事業費	C11A
根拠法令	図書館法等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	15 図書館費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民の読書意欲を高めるために、各種図書館行事を実施する。特に子どもたちやその保護者などに対しては、読書習慣への動機付けを図るための事業をボランティアとの協働により実施する。
事業概要	市民の読書意欲の向上や子どもたちへの読書週間への動機付けを図るために、各種事業を実施する。
実施内容	親子を対象とした講座や児童対象の行事をボランティアと協働で行うほか、利用頻度が少ない成人層を対象とした講座等を実施し、利用促進及び読書推進を図る。 <令和5年度 主な実績> (講座) ・市内幼稚園への出張講座 15回開催 560人参加 (行事) ・おはなし会(中央 48回開催 1,063人参加、北 31回開催 731人参加) ・乳幼児と保護者向けの読み聞かせ(中央 23回開催 163人参加、北 22回開催 523人参加) ・リサイクルブックフェア(中央及び北図書館にて各1回開催 中央 146人参加、北 213人参加) ・ビブリオバトル尼崎(6回開催 135人参加)

②事業成果の点検

目標指標	図書館行事参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人			
目標・実績	目標値 12,000	達成年度	毎年度	令和3年度 5,345	令和4年度 8,963	令和5年度 8,833
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していた行事の多くを再開したが、引き続き定員を減じる等の対策を行っており、令和4年度に引き続き目標値には届かず、コロナ渦前の水準に戻しきれていない。</p> <p>・尼崎南ロータリークラブとの共催で人形劇を実施し好評を得たほか、あまがさき観光局との共催で人気作家の講演会を行うなど、地域の団体や関係機関と連携し、普段図書館に来館しない市民にも読書推進を図った。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・尼崎市立図書館基本的運営方針に掲げる「1人あたり貸出冊数」や「来館者数」などの目標達成に向けて、親子で楽しめる事業や青少年との協働による事業、城内地区での連携事業を実施し、子ども・若者に読書に親しんでもらうとともに、まちの魅力の発信に取り組む。</p> <p>・「読書を通じたまちじゅう学び事業」を開始し、地域で身近に図書に触れる機会のある配本所(図書室のある生涯学習プラザ及びユース交流センター)においても指定管理者やボランティアと連携し、親子向けの読み聞かせや図書関連講座などの読書推進事業を実施する。</p>					

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	309	354	356	546	
報償費	39	85	99	276	講師謝礼
需用費	270	269	257	270	行事務用消耗品
人件費 B	15,572	16,269	16,192	18,656	
職員人工数	1.48	1.46	1.45	1.71	
職員人件費	11,429	11,191	11,114	13,417	
会任等人件費	4,143	5,078	5,078	5,239	
合計 C(A+B)	15,881	16,623	16,548	19,202	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	15,881	16,623	16,548	19,202	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	障がい者等サービス事業費	C11K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和29年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				
局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	視覚障がいを持つ市民等が本に親しみを持ち、読書活動を行える環境を整備し、生涯学習の一助となるための事業を実施する。
事業概要	視覚障がい者等に対して、対面朗読の実施や点字図書及び録音図書の郵送貸出を行う。また、視覚障がい者の読書活動をサポートする様々な機器の紹介や、点字作業の実演などの事業を実施する。
実施内容	対面朗読の実施や点字図書・録音図書の郵送による貸出を行った。また、障がい者等を対象とした行事を実施し、公共図書館としてのサービス向上に努めた。 <令和5年度 主な実績> (貸出) ・点字図書(利用者数 374人 貸出点数 516点) ・録音図書(利用者数 2,128人 貸出点数 3,159点) (事業) ・対面朗読(延べ157人参加) ・バリアフリー読書展(46人参加) ・人にやさしい読み書き機器展(46人参加)

②事業成果の点検

目標指標	点字図書及び録音図書の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	4,500	達成年度	毎年度	令和3年度	3,490	令和4年度	3,048	令和5年度	2,502
事業成果 (達成状況等)	【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った) ・視覚障がい者に点字図書や録音図書を提供し、一般図書が利用困難な市民に対しても読書活動が行える環境を整備した。 ・利用者の高齢化やインターネットによる録音図書の普及により、利用者が減少している。 【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・インターネットによる録音図書データのダウンロード利用が普及し、利用者は年々減少しているところではあるが、録音図書郵送貸出サービスの需要は一定数あるため、引き続き実施していく。									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	164	160	96	165	
需用費	164	160	96	165	点字雑誌等
役務費					
委託料					
使用料及び賃借料					
その他					
人件費 B	8,628	8,857	8,780	9,608	
職員人工数	1.01	1.07	1.06	1.16	
職員人件費	7,799	8,202	8,125	9,101	
会任等人件費	829	655	655	507	
合計 C(A+B)	8,792	9,017	8,876	9,773	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	8,792	9,017	8,876	9,773	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	図書等購入事業費	C121	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			昭和25年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	貸出や閲覧に供するための図書等を購入し、適正な図書館の運営を図る。
事業概要	図書等を選書して購入し、図書館等に配架して利用者に供する。
実施内容	<p>図書館運営のために必要な図書及びAV資料並びに逐次刊行物を購入する。 <令和5年度実績> (図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書(7,872冊 13,821千円) ・児童図書(6,591冊 11,318千円) ・参考図書(850冊 5,843千円) ・AV資料(13本 194千円) <p>(逐次刊行物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌(2,251冊 1,919千円) ・新聞(1,059千円) ・加除式刊行物(392千円) ・電子図書(765タイトル 2,342千円)

②事業成果の点検

目標指標	図書の商品揃えに対する満足度							単位	%	
目標・実績	目標値	56.7	達成年度	令和9年度	令和3年度	48.7	令和4年度	53.1	令和5年度	52.6
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、利用者のニーズに応えるよう選書を行い、図書等の購入を行った。 ・「あまがさき電子図書館」については、小学校とも連携する中で、児童を中心に利用数が増加した。(貸出:令和5年度 23,180冊、令和4年度 16,629冊) ・園田西生涯学習プラザ工事による長期休館はあったが、小田北生涯学習プラザが長期休館した令和4年度よりは影響が小さく、貸出冊数が回復した。(令和5年度 1,412,261冊 令和4年度 1,368,517冊 令和3年度 1,434,288冊) ・市民1人当たりの蔵書冊数、貸出冊数等は、阪神間各市並びに中核市と比較して依然として低水準にある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進につながる事業を、関係団体とも連携を図りながら図書館内外で行い、図書の貸出を促進する。 ・市内の学校園等との連携を推進し、児童生徒が図書に親しむ機会の創出を図る。 ・自習スペースのみの利用に留まっている若年層に対して、その動線上にあたる場所を活用して読書推進を図るとともに、公式アプリやLINE等の新しいサービス、公式X(旧Twitter)について周知を行い、貸出利用につなげる仕組みの構築を図る。 ・市立小学校及び特別支援学校の児童・生徒に対し電子図書館のIDを付与するとともに、「読み放題パック」を導入し、各学校におけるタブレットを活用した学習活動や家庭での読書活動を推進する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	36,998	42,017	36,996	37,137	
需用費	5,737	5,746	5,745	5,850	雑誌、新聞、電子書籍等
備品購入費	31,261	36,271	31,251	31,287	図書購入費
人件費 B	32,587	29,345	28,081	35,858	
職員人工数	1.86	1.52	1.27	1.93	
職員人件費	13,697	10,999	9,735	16,423	
会任等人件費	18,890	18,346	18,346	19,435	
合計 C(A+B)	69,585	71,362	65,077	72,995	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	31,260	33,256	36,987	37,033	市町村振興協会市町交付金
一般財源	38,325	38,106	28,090	35,962	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	図書館サービス網関係事業費	C12A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	図書館法等		展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成2年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	15 図書館費				
局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民が誰でも、どこでも、どのような資料でも利用できる環境を整備する。
事業概要	市民の学習活動を支援するため、中央・北図書館、生涯学習プラザ等図書室の計10施設を結ぶ図書館情報オンラインシステムにより、市内での自由な図書の貸出・返却及びインターネットを利用した蔵書検索等を可能にする。
実施内容	1 図書館サービス網関係事業費(システム) 中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワーク化し、市民が図書館(図書室)を利用しやすい環境整備に取り組む。 (実績)システム経費 21,404千円(令和5年度)

②事業成果の点検

目標指標	図書館システムを利用した予約件数の割合(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	%	
目標・実績	目標値	90.0	達成年度	毎年度	令和3年度	89.9	令和4年度	89.9	令和5年度	93.9
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・令和5年1月に、中央・北図書館、7生涯学習プラザ及びユース交流センター図書室をネットワークで結ぶ図書館システムを更新し、インターネットによる貸出や資料検索、予約の手続などを簡素化するとともに、LINEやアプリの導入により、一層手軽に図書館サービスを利用できるようにしたことにより、図書館システムを利用した予約件数の割合が増加した。</p> <p>・引き続きインターネットを利用した図書館サービスを広く周知するなど、利用率向上に向けた取組を講じ、図書館(図書室)の利用促進につなげる必要がある。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・図書館システムは、阪神間各市だけでなく、大多数の自治体が導入しており、サービスの維持向上のため継続してシステムを運用する。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	23,399	29,020	23,291	24,120	
需用費	634	612	685	755	図書貸出券作成等
役務費	10	11	14	18	ボランティア保険料
委託料	3,360	8,360			(R3) 書誌情報作成業務等、(R4) データ抽出業務等
使用料及び賃借料	19,395	20,037	22,592	23,347	図書館システム経費、書誌情報使用料
人件費 B	5,704	6,042	4,683	3,881	
職員人工数	0.61	0.66	0.44	0.43	
職員人件費	4,710	5,059	3,373	3,374	
会任等人件費	994	983	1,310	507	
合計 C(A+B)	29,103	35,062	27,974	28,001	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	8,978	320	7,257	5,512	市町村振興協会市町交付金等
一般財源	20,125	34,742	20,717	22,489	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	図書館資料整理事業費	C12K
根拠法令	図書館法等	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成2年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	15 図書館費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-1 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進

局	教育委員会事務局	課	中央図書館	所属長名	安福 真理子
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	図書館における行政資料、記録その他新聞等の公共性の高い資料を整理・保存し、利用者の調査研究に寄与する。
事業概要	資料保存のため、市報・新聞の阪神版等の製本及び図書館資料の補修・補強などを行う。
実施内容	<p>資料を良好な状態で利用者に提供するため、経年劣化等により破損・損傷した資料の補修・補強を適宜行う。また、市報あまがさき及び新聞については、製本を行い長期間保存できるように努める。さらに、新聞記事データベース(ヨミダス歴史観)や国立国会図書館デジタルコレクションといったオンラインサービスを活用することで、記事検索を容易にするなど、市民サービスの向上に寄与している。</p> <p>(実績)</p> <p>市報あまがさき及び新聞(阪神版)の製本 80千円 バーコード作成費用 92千円 資料整理及び補修用消耗品 241千円 郷土資料(住宅地図等)修繕 24千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	—(資料の保存を目的とする事業であるため、適切な目標指標の設定は困難)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を提供していく中で、経年劣化等による資料の破損が生じている資料について、破損が軽微な資料については適宜補強・補修を行い、破損が著しい資料(住宅地図1冊、新聞縮刷版3冊)は業者へ依頼し修繕を行った。 市報あまがさき(令和4年1月から令和4年12月分まで)及び保存年限を経過した新聞に掲載されている阪神間に係る記事のみを抜粋した阪神版の新聞(朝日・読売・毎日・産経・神戸の各新聞 平成31年1月から令和元年12月分まで)の製本を行い、図書館利用者に提供した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も、資料の保存・整理を適切に行い、市民の生涯学習につなげていけるよう努める。 破損した資料をいち早く利用者に供することが出来るよう、速やかに補修・補強を行っていく。 市報あまがさき及び各新聞の阪神版について製本を行い、資料の保存、利用者への提供を行う。 破損が激しい住宅地図のうち著作権切れとなっているものについては、資料の保全のため複写資料を随時作成していく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	428	456	437	473	
需用費	428	456	437	473	新聞、市報製本、バーコード作成等
人件費 B	2,197	2,176	1,923	2,628	
職員人工数	0.13	0.13	0.08	0.13	
職員人件費	871	866	613	1,276	
会任等人件費	1,326	1,310	1,310	1,352	
合計 C(A+B)	2,625	2,632	2,360	3,101	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,625	2,632	2,360	3,101	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	国際交流事業補助金	102J	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市国際交流・多文化共生事業補助金交付要綱		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度			昭和56年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	05 一般管理費				
局	総合政策局	課	ダイバーシティ推進課	所属長名	牧 有里

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	国際交流及び多文化共生事業に対して補助金を交付し、市民と諸外国との交流や多文化共生の推進を図る。
事業概要	国際交流及び多文化共生に関する事業を行う市民主体の団体に対して、事業に係る経費の一部を補助する。
実施内容	<p>令和5年度より補助対象事業に多文化共生事業を加え、姉妹都市・友好都市その他諸外国の市民や団体及び市内在住外国人との国際交流を行っている団体、また外国籍住民が安心して快適に生活や行動ができる多文化共生社会の実現に向けた事業を実施している団体に対して、事業補助を行った。</p> <p>1 特定非営利活動法人シンフォニー (1) 事業内容 ワンストップ型相談支援(14人)、市民版多国籍交流会(46人) (2) 補助額 174,000円</p> <p>2 特定非営利活動法人尼崎市国際交流協会 (1) 事業内容 高校生夏休み英会話レッスン(9人)、韓国宮廷料理教室(19人)、インスタ映えスポット巡り交流会(16人) (2) 補助額 65,000円</p>

②事業成果の点検

目標指標	補助金交付団体主催の交流イベントや諸外国との交流等のうち、補助対象事業に係る参加人数の合計(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	400	達成年度	毎年度	令和3年度	266	令和4年度	348	令和5年度	104
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度より補助対象事業に多文化共生事業を加え、市報等で広く周知した結果、複数団体から補助申請があった。(令和4年度は1団体) 本市の多文化共生を取り巻く環境はここ数年で大きく変化しており、外国にルーツを持つ市民への支援や交流に関するニーズが高まっていることから、当該制度の更なる周知が必要である。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で多文化共生事業に取り組む意欲のある団体に向けて、市報やホームページ等を通して広く補助金の利用を呼びかけ、支援を行っていく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	430	233	239	800	令和6年度からは「国際交流・多文化共生事業補助金」
負担金補助及び交付金	430	233	239	800	
人件費 B	263	205	1,085	1,569	
職員人工数	0.02	0.01	0.12	0.20	
職員人件費	154	77	922	1,569	
会任等人件費	109	128	163		
合計 C(A+B)	693	438	1,324	2,369	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	693	438	1,324	2,369	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	尼崎市文化振興財団補助金	1F1A
根拠法令	尼崎市文化振興財団補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和49年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	63 文化振興費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	苅田 昭憲
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、市民文化活動の拠点施設である尼崎市総合文化センターを運営する尼崎市文化振興財団(以下、「財団」)に対し、ホール管理費・文化振興事業費等の補助金を交付することで、良質な文化芸術に触れる機会を提供し、市民が文化芸術に親しんでいる状態を目指す。
事業概要	本市文化振興の中核を担う尼崎市文化振興財団に補助金を交付し、文化の向上発展を図る。
実施内容	<p>優れた文化芸術に親しむ機会の提供や豊かな市民文化活動の推進を図るため、以下の事業に対し補助を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運営事業費補助(財団職員人件費・ホール管理費・文化事業費(美術展、団体育成)) 財団の管理運営に係る経費を一部補助することにより、ホール事業32、美術展事業4他を行った。 2 文化振興事業費補助(市展・ふれあいギャラリー・文芸祭・尼崎薪能・新人お笑い尼崎大賞・近松ナウ・近松祭) 近松没後300回忌の節目として、例年より催しを充実させた「大近松祭-三百年祭-」を開催した。 4年ぶりに尼崎城の野外特設舞台にて「尼崎薪能」を開催した。 3 市民芸術賞等事業補助(市民芸術賞・文化功労賞・文化未来奨励賞) 4 郷土画家「白髪一雄」発信事業補助 白髪一雄記念室の運営及びアウトリーチ(訪問型ワークショップ)事業を実施した。 5 施設整備費補助 利用者等の安全を確保、事故の未然防止、事業の円滑な実施のための施設・設備更新工事等を行った。 6 白髪一雄現代美術賞関係事業補助 若手アーティストによる先駆的で魅力のある現代美術作品を顕彰した。令和5年度は、5名の応募があり、美術家の井上裕加里氏を第2回の受賞者として決定した。(展覧会の開催は令和6年度中を予定) 7 動画配信等関係事業補助 美術系事業、各地域の歴史・文化事業の情報発信を行った。

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市総合文化センター稼働率(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	%		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	44.9	令和4年度	41.2	令和5年度	34.8
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と財団がそれぞれの強みを生かしながら協働して文化振興に取り組むため、令和5年度から協働契約を締結し文化振興事業を実施した。 ・総合文化センターの稼働率については、多目的室の利用が減少したことにより全体としては低下しているが、文化・芸術の公演や展覧会に利用される大・中・ミニホール及び美術ホールはコロナ禍前の水準に概ね回復している。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と財団の協議を密にし、ともに事業の振り返りを行うことで、各種評価を踏まえて取組を進めていく。また、総合文化センターの工事期間中の事業展開の在り方について財団と協議を進める。 ・白髪一雄現代美術賞は、第2回受賞者がA-LABでの個展の開催を予定しているほか、第1回受賞者が白髪一雄生誕100年記念事業と連動した企画展を実施予定である。この賞はアーティストの支援であるだけでなく、白髪一雄の功績を次代に継承していくという点でも意義があるため、周知方法を工夫し、引き続き実施する。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	261,919	280,804	271,784	284,593	令和4年度までは「尼崎市文化振興財団補助金等」
委託料	469	469			市民芸術賞・文化功労賞委託費
負担金補助及び交付金	261,450	280,335	271,784	284,593	
人件費 B	3,012	4,369	11,522	8,709	
職員人工数	0.39	0.57	1.50	1.11	
職員人件費	3,012	4,369	11,522	8,709	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	264,931	285,173	283,306	293,302	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	6,722				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国10/10)
市債					
その他	13,423	12,623	14,652	15,224	市町村振興協会市町交付金、文化振興基金繰入金
一般財源	244,786	272,550	268,654	278,078	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	白髪一雄生誕100年記念事業費	1F1C	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和元年度	
会計	01 一般会計			
款	10 総務費			
項	05 総務管理費			
目	63 文化振興費			

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	苅田 昭憲
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	本市の出身で素足で描くフット・ペインティングにより世界的にも著名な抽象画家・白髪一雄氏の画業や作品を本市の誇るべき地域資源としてその魅力を市民、国内外の人に広くPRする。
事業概要	全国各地の主要美術館において、本市所蔵の白髪作品を活用した展覧会を実施し発信する。白髪一雄氏が令和6年に生誕100年を迎えるにあたり、令和5年度は記念プレ事業を実施する。
実施内容	<p>【郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト】</p> <p>初期からアクション・ペインティングによる抽象作品までの作品を一堂に展示したほか、白髪氏のご遺族にも協力を得て作品・資料を出品し、充実した内容となった。また、北九州市立美術館では、同美術館所蔵の具体美術協会(通称、「具体」)メンバーの作品が、新潟県立近代美術館では、同美術館所蔵の白髪作品やその他作家の作品が合わせて展示され、当地での開催の意義や「具体」の活動内容への理解が深まる展示となった。</p> <p>・北九州市立美術館 令和5年5月20日～8月13日(74日間※休館期間除く) 入場者数4,289人 コレクション展 I 特集「具体」白髪一雄 尼崎市コレクション 尼崎市から19点(市所蔵18点、文化振興財団所蔵1点)を出品</p> <p>・新潟県立近代美術館 令和6年1月13日～2月25日(38日間※休館期間除く) 入場者数1,332人 新潟県立近代美術館開館30周年記念 行為と詩情 ACTION&POETRY 特別展示: 尼崎市コレクション 白髪一雄 尼崎市から14点(尼崎市・教育委員会所蔵・寄託作品8点、白髪久雄氏所蔵作品6点)を出品</p> <p>【郷土画家「白髪一雄」生誕100年記念プレ事業】</p> <p>令和6年度の白髪一雄生誕100年に向けて、記念事業を企画・推進する実行委員会を組織するとともに、プレ事業として白髪氏の画業をわかりやすく紹介する教育普及のための映像コンテンツの開発・作成、記念ロゴデザインの募集などを実施し、白髪氏の魅力を大きく発信した。記念ロゴデザインは約400点の応募があり、市内外に広く参加を呼びかけた一般投票を経て受賞作品を決定した。</p>

②事業成果の点検

目標指標	展覧会の入館者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	3,000	達成年度	毎年度	令和3年度	—	令和4年度	1,681	令和5年度	5,621
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・発信プロジェクトは令和元年度以来、年間2か所での開催ができていなかったが、令和5年度は最終年度の集大成として、北九州市立美術館、新潟県立近代美術館の2か所で開催し、入館者数の目標を達成することができた。</p> <p>・生誕100年記念プレ事業では、記念ロゴデザインの募集・選考を通して、白髪氏の魅力を市内外に広く周知できた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・令和6年度は白髪一雄生誕100年記念事業の記念展をはじめとして、国際シンポジウム、ロゴデザイン応募作品展、第1回白髪一雄現代美術賞受賞者展覧会、まち歩きツアー等、白髪氏の功績を市民が継承できるような事業を展開する。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	154	2,724	7,886	14,020	令和4年度までは「郷土画家「白髪一雄」発信プロジェクト事業費」
旅費		224	90		展覧会開催館への出張旅費
委託料	154	2,500	5,770		展覧会開催業務委託
負担金補助及び交付金			2,026	14,020	実行委員会負担金
人件費 B	1,776	2,606	2,996	1,805	
職員人工数	0.23	0.34	0.39	0.23	
職員人件費	1,776	2,606	2,996	1,805	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	1,930	5,330	10,882	15,825	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	154	2,500	7,796	14,020	文化振興基金繰入金
一般財源	1,776	2,830	3,086	1,805	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	文化団体育成補助金	1F1D
根拠法令	尼崎市文化団体協議会補助金交付要綱	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度 昭和40年度
会計	01 一般会計	
款	10 総務費	
項	05 総務管理費	
目	63 文化振興費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	苅田 昭憲
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付し、多彩で創造的な文化活動の促進を図る。
事業概要	尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。
実施内容	<p>市内で活動している文化団体17団体間の連携と協調を図るとともに、地域文化の向上を図るため、尼崎市文化団体協議会に対し、補助金を交付する。(2団体は、令和5年度に事業が実施できなかったため、一部返金対応)</p> <p>【構成団体】(17団体 順不同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎ピアノ音楽協会 ・ 尼崎市囲碁協会 ・ 尼崎市合唱連盟 ・ 尼崎邦舞協会 ・ 尼崎川柳協会 (返金) ・ 尼崎吟詠協会 ・ 尼崎皇月協会 ・ 尼崎市合奏連盟 ・ 尼崎マンドリン・ギター協会 ・ 尼崎能楽会 (返金) ・ 尼崎市オーケストラ協会 ・ 尼崎市吹奏楽連盟 ・ 尼崎民謡民舞連合協会 ・ 尼崎邦楽文化協会 ・ 尼崎市菊花協会 ・ 尼崎俳句協会 ・ 尼崎洋舞家協会

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市文化団体協議会の加盟団体による実施事業数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	事業	
目標・実績	目標値	25	達成年度	毎年度	令和3年度	15	令和4年度	26	令和5年度	30
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>協議会として令和5年10月に「あまがさき芸術文化体験講座」を開催し、市内小学生を中心とした参加者が、囲碁、箏、日本舞踊を体験し日本文化に親しむことができた。また、イベント開催後も各団体より引き続き参加者へ新規のイベント案内を送付するなど、継続的に文化活動に参加してもらえる取組を続けている。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各文化団体が単に組織内での活動を行うだけでなく、他団体との連携や協調を図りながら活動することで、市民が文化、芸術に触れる機会の創出に寄与していく。 ・ 今後はより若い世代が各団体の活動を担っていけるように、広く市民に周知を行い、気軽に活動に参加できるきっかけづくりを創出していく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	56	65	63	0	令和6年度からは「その他諸経費」へ移行
負担金補助及び交付金	56	65	63		
人件費 B	247	992	1,892	0	
職員人工数	0.02	0.03	0.14		
職員人件費	154	230	1,075		
会任等人件費	93	762	817		
合計 C(A+B)	303	1,057	1,955	0	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	303	1,057	1,955	0	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	文化芸術推進事業費	1F1E	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市文化ビジョン		展開方向	01-2 まちの魅力を高める文化芸術活動の推進	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			平成25年度
会計	01 一般会計				
款	10 総務費				
項	05 総務管理費				
目	63 文化振興費				

局	総合政策局	課	文化振興課	所属長名	苺田 昭憲
---	-------	---	-------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎市文化ビジョン」に基づき、夢へのチャレンジを応援する事業を行うとともに、市民が文化・芸術に触れる機会を提供する。
事業概要	本市の魅力や地域資源を活用しながら、夢やチャレンジを応援することを目的とした事業等を行う。
実施内容	<p>1 A-LAB(えーらぼ)運営事業 若手アーティストの発表・創作の場として展覧会などを開催した。展覧会5回(来場者1,779人)、トークイベント4回(参加者59人、うち1回動画配信207再生)、イベント3回(参加者46人)、座談会1回(参加者39人)。また、A-LAB GO+として、全9回のワークショップを各地域の生涯学習プラザで行った(参加者221人)。</p> <p>2 音楽祭関係事業費 「ポストコロナに向けたミュージシャン応援事業」として、「あまがさきみんなのミュージックフェスティバル2023」を開催し、82組の応募者のうち32組のアーティストが発表した(参加者580人)。</p> <p>3 公開レッスンコンサート事業 市内高校の吹奏楽部を対象に、日欧で活躍する指揮者・北原幸男氏による公開レッスンコンサートを開催した(来場者517人)。</p> <p>4 アート@シビック・ロビー事業 市内公共施設のロビー等で本市が収蔵している美術品を活用した展覧会を開催した。全4期・各期4テーマの展示を本庁舎と生涯学習プラザ等で巡回した。(令和5年度テーマ:「柳川ミチ子 コレクション」の風景画を4つのテーマで展示)</p> <p>5 ティーンズサポートチケットPR事業 若者に本物の音楽や舞台などの芸術に触れる機会を提供するため、総合文化センター及びピッコロシアターで実施する公演を若年層が500円で鑑賞できる「ティーンズサポートチケット」のPRを行った。(応募者数93人)</p>

②事業成果の点検

目標指標	若者支援を対象にした文化芸術事業への参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	5,250	達成年度	令和9年度	令和3年度	4,974	令和4年度	10,643	令和5年度	3,045
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A-LABでの展覧会のうち2回は大学生やアーティストが市内をリサーチして制作した作品の展覧会とすることで、市民が現代アートを身近に感じる機会となった。 ・音楽祭関係事業ではアーティストに発表の場づくりができた。また、市内で文化活動をしている人々の情報やノウハウ等を市民に発信し、市民発意の取組が増えるよう支援を行う必要がある。 ・アート@シビクロビー事業は、各施設の展示環境に合わせた作品を選定する必要性から小作品を選定せざるを得ず、テーマに沿った魅力ある作品を継続的に展示していくことは困難な面がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新しいことへチャレンジしようとする多様な人の活動を応援する取組を行っていく。 ・コロナ禍での絵画の鑑賞機会の確保のため開始したアート@シビクロビー事業は、外出行動が回復していることも踏まえ終了する。また、総合文化センターの耐震化期間中における美術品の活用については改めて検討していく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	24,772	26,030	25,275	26,454	令和4年度までは「若者の夢創造・発信事業費」と「まちの魅力発信事業費」
報償費	6,251	5,559	150	695	出展者謝礼、選考員等謝礼等
需用費	2,139	2,442	1,944	3,007	A-LAB施設維持管理経費等
委託料	14,979	15,476	20,186	20,233	A-LAB運営事業費等
使用料及び賃借料	1,328	1,340	1,005	1,025	レッスンコンサート会場使用料等
その他	75	1,213	1,990	1,494	音楽祭実行委員会負担金等
人件費 B	21,486	24,823	10,065	9,677	
職員人工数	2.38	2.63	0.95	1.06	
職員人件費	18,379	20,159	7,297	8,317	
会任等人件費	3,107	4,664	2,768	1,360	
合計 C(A+B)	46,258	50,853	35,340	36,131	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債		700			地域活性化事業債(公共施設LED化)
その他	1,038	1,046	2,428	2,432	文化振興基金繰入金、自販機電気料実費弁償金
一般財源	45,220	49,107	32,912	33,699	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	文化財保護啓発事業費	C51A	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	文化財保護法、尼崎市文化財保護条例		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	法定事業(裁量含む)	事業開始年度			昭和39年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				

局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	長い歴史を有する本市に多数現存している史跡・文化財を市民共有の財産として保護・活用していく。埋蔵文化財については、周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内での開発事業に際し、事業者や庁内関係課との連絡・調整を密にして、保護・活用を図る。
事業概要	埋蔵文化財の発掘調査の実施を含め、文化財の保護・啓発に努める。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会 出土遺物保存処理事業 市内遺跡発掘調査事業 遺跡調査システム導入事業 国指定文化財管理事業 全国史跡整備市町村協議会等負担金 旧尼崎紡績本社事務所保存活用事業 文化財の啓発 <ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業

②事業成果の点検

目標指標	指定文化財の毀損・滅失・解除数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	件										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>0</td> <th>達成年度</th> <td>毎年度</td> <th>令和3年度</th> <td>0</td> <th>令和4年度</th> <td>0</td> <th>令和5年度</th> <td>0</td> </tr> </table>	目標値	0	達成年度	毎年度	令和3年度	0	令和4年度	0	令和5年度	0		
目標値	0	達成年度	毎年度	令和3年度	0	令和4年度	0	令和5年度	0				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度において国・県・市指定文化財とも毀損・滅失・解除はなかった。 埋蔵文化財については、法令に基づき適切に対応した。 歴史遺産を活かしたまちの魅力再発見事業については、市民向け事業である戦国歴史ウォークを実施した。 旧尼崎紡績本社事務所については、保存及び活用を図るための指針を策定するとともに、保存・活用に向けた機運醸成を図る取組(企画展や市民協働によるお掃除イベント、スケッチ講座等)の実施やグッズ販売を行った。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護や歴史資料等の収集・調査・整理を進め、地域資産として有効活用できるように保存・公開することにより、地域の歴史を学ぶ環境づくりを進める。 歴史遺産を保存し活かす活動に取り組む市民グループ等との連携・協力を進め、地域の歴史遺産の保存・活用を図る。 旧尼崎紡績本社事務所については、策定した指針に基づき、全庁的な連携を図り、保存・活用に向けた検討を進めていくとともに、機運醸成の取組を引き続き、継続していく必要がある。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	5,259	4,420	8,610	32,703	
需用費	515	554	932	1,542	発掘用品等
委託料	2,579	2,572	3,974	7,718	市内遺跡発掘調査作業委託等
使用料及び賃借料	1,037	1,038	1,038	1,038	遺跡調査システムリース料
負担金補助及び交付金	126	206	196	419	国指定文化財管理事業補助金等
その他	1,002	50	2,470	21,986	旧尼崎紡績本社事務所敷地整備工事、文化財施設火災保険料等
人件費 B	37,602	40,559	38,519	32,318	
職員人工数	3.98	4.25	3.56	2.63	
職員人件費	28,068	29,335	25,394	19,654	
会任等人件費	9,534	11,224	13,125	12,664	
合計 C(A+B)	42,861	44,979	47,129	65,021	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金	3,750	3,750	3,750	15,079	埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助金(補助率国1/2・県1/4)
市債					
その他	15	18	3,861	15,996	文化財保存活用基金繰入金、市政資料等頒布収入
一般財源	39,096	41,211	39,518	33,946	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	歴史博物館資料保存事業費	C51N	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成13年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史資料等の収集・保管を行うことにより地域資産の保存・活用を図り、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	歴史資料を地域資産として保存・活用するため、資料の購入を行う。
実施内容	<p>歴史博物館資料保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尼崎の歴史にゆかりのある歴史資料等を寄贈・寄託等により収集し保管する。 ・教育振興基金を活用し、歴史博物館に展示・収蔵する資料の購入を行う。 ・令和6年3月末現在の資料収蔵状況…1,633件、27,438点 (令和5年度主な購入実績) <p>備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博覧会諸人群集之図元昌平坂ニ於テ 1点 ・大日本内国勸業博覧会之図美術館出品之図 1点 <p>消耗品費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本職業別明細図之内尼崎市街図 1枚 ・火力発電の回顧と展望 1冊 ・国芳 名高百勇伝 平知盛 他 5点

②事業成果の点検

目標指標	収蔵資料数(適切な成果指標及びその目標設定が困難なため、活動指標の実績値のみを表記)							単位	点		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	27,407	令和4年度	27,419	令和5年度	27,430
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民からの寄贈等による資料収集を積極的に行ってきたため、収蔵資料は年々増加している。 ・購入した資料は常設展や企画展、特別展等で展示し活用している。 ・収蔵資料を市民等の利用に供するよう活用している。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入等による歴史博物館資料の収集を積極的かつ継続的に進めていくことにより、歴史博物館の常設展や企画展、特別展等の展示の充実を図り、収蔵資料の充実を図っていく。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	997	1,000	1,170	1,000	
需用費	612	175	695	80	資料購入等
備品購入費	385	825	475	920	資料購入等
人件費 B	4,289	3,874	4,561	4,955	
職員人工数	0.59	0.59	0.78	0.84	
職員人件費	4,289	3,874	4,561	4,955	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	5,286	4,874	5,731	5,955	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	997	1,000	1,170	1,000	文化財保存活用基金繰入金
一般財源	4,289	3,874	4,561	4,955	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	歴史博物館展示事業費	C521	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令			展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成26年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	歴史博物館が所蔵する資料を広く公開し、市民の尼崎の歴史や文化財への関心を高めるとともに、尼崎の魅力発信やシビックプライドの醸成に資する。
事業概要	歴史博物館が所蔵する資料等を活用した特別展・企画展を開催する。尼崎の歴史や文化財に関わるテーマで、他都市博物館等から借用した文化財・歴史資料も活用した特別展を開催し、市内外から多くの来館者を迎え、特別展を通じて本市の深く長い歴史や豊富な文化財をPRする。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○特別展 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回「尼崎市指定文化財の精華」(前期) <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和5年10月1日～11月30日(52日間)、入館者数 9,005人 ○企画展 <ul style="list-style-type: none"> ・第8回企画展「尼崎を駆け抜けた戦国武将-細川高国・三好長慶・佐々成政-」 <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和5年4月22日～6月18日(50日間)、入館者数 6,784人 ・第9回企画展「尼崎紡績-工都尼崎のはじまり-」 <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和5年7月8日～9月3日(50日間)、入館者数 7,761人 ・第3回特別展・第10回企画展「尼崎市指定文化財の精華」(後期) <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和6年1月6日～3月24日(68日間)、入館者数 9,230人 ○同時開催展 <ul style="list-style-type: none"> ・第8回・第9回企画展同時開催「歴史博物館ができるまで」 <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和5年4月22日～9月3日(116日間)、入館者数 16,389人 ・第3回特別展・第10回企画展同時開催「わがまち誇りの文化財写真展」 <ul style="list-style-type: none"> 会期:令和5年10月1日～令和6年3月24日(146日間)、入館者数 20,984人 ○常設展 <ul style="list-style-type: none"> ・通年開館(開館日数309日間)、入館者数43,441人

②事業成果の点検

目標指標	歴史博物館年間入館者数	単位	人
目標・実績	目標値 50,000	達成年度	令和9年度
	令和3年度	45,171	令和4年度
	39,351	令和5年度	43,441
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>・令和5年度は309日間開館、特別展1回と企画展3回を開催し、入館者数は年間合計43,441人であった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・特別展は、歴史博物館を代表する催しであり、集客効果も高いため、今後も、他博物館等からの借用資料も活用し、魅力的な展示内容になるよう継続的に開催し、広報の強化、展示内容の充実を図っていく。</p> <p>・企画展は、歴史博物館が収蔵する資料を活用し、本市の歴史や文化財を観覧者に見ていただくため、広報の強化、展示内容の充実を図っていく。また今後も継続的に年間3回程度、開催していく。</p> <p>・常設展は、展示内容を定期的に更新しながら、展示内容の充実を図り、通年で公開していく。</p>		

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	5,885	3,117	4,001	4,512	
報償費	63	41	61	63	講師謝礼
旅費	51	60	0	67	旅費
需用費	1,674	1,443	1,159	1,159	消耗品費・印刷製本費
委託料	4,097	1,573	2,781	3,223	展示資料運搬列品委託等
人件費 B	12,274	11,299	9,889	11,534	
職員人工数	1.56	1.49	1.40	1.52	
職員人件費	11,380	10,254	8,803	9,745	
会任等人件費	894	1,045	1,086	1,789	
合計 C(A+B)	18,159	14,416	13,890	16,046	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	146	102	316	100	市政資料頒布収入
一般財源	18,013	14,314	13,574	15,946	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	文化財保存活用地域計画策定事業費	C522	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	文化財保護法		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			令和5年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	文化財の保存と活用の両面から計画の狙いを明確にするとともに、学校や図書館、その他文化施設等との連携も含めた計画とする。また、文化財の保存と活用にかかる取組の見える化と効果的な進捗管理が図れる計画となるよう意識して策定していく。
事業概要	文化財保護法に規定された市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画であり、文化財行政の中・長期的な基本方針と、短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランとしての両方の役割を担う、文化財保存活用地域計画を策定する。
実施内容	文化財保護法に基づき、文化財の所有者、学識経験者、商工関係団体、観光関係団体、学校関係者等により組織した「文化財保存活用地域計画協議会」や「文化財保護審議会」から意見を聴取しながら、令和7年度の計画策定に向け取組を進める。 令和5年度文化財保存活用地域計画協議会の開催状況 第1回協議会 令和5年10月13日 計画作成の背景・目的、構成、ビジョン等について 第2回協議会 令和6年2月7日 計画のビジョン、関連文化財群における歴史分のテーマ等について

②事業成果の点検

目標指標	—(計画策定であり、適切な成果指標及び活動指標の設定は困難)							単位	—		
目標・実績	目標値	—	達成年度	—	年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	—
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: —)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用地域計画協議会を設置し、計画策定に向け検討を開始した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、文化財保存活用地域計画協議会や文化財保護審議会から意見を聴取するとともに、市民アンケートなども活用しながら、尼崎の歴史文化の特徴を適切にとらえ、その保存と活用に向けた実効性のある計画となるよう策定を進める。 										

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	0	0	2,833	4,391	
報償費			62	128	協議会出席者謝金
旅費			4	8	旅費
需用費			67	71	消耗品
委託料			2,700	4,137	文化財保存活用地域計画作成支援業務委託料
使用料及び賃借料				47	会場使用料
人件費 B	0	0	1,736	5,431	
職員人工数				0.46	
職員人件費				3,364	
会任等人件費			1,736	2,067	
合計 C(A+B)	0	0	4,569	9,822	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金			4,293	5,809	地域文化財総合活用推進事業(文化財保存活用地域計画作成)文化芸術振興費補助金
市債					
その他					
一般財源	0	0	276	4,013	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	歴史博物館教育普及事業費	C529	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市民と協働で体験学習活動や出土資料の整理作業等を実施し、教育普及活動をすることにより、市民が尼崎の歴史に関心を持ち、地域の歴史に根差した文化活動の促進に寄与する。
事業概要	地域の歴史に関わる各種体験学習活動を市民と協働で実施するなど、教育普及事業を行う。
実施内容	<p>1 歴史博物館市民協働事業(参加者延人数)計1,638人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財資料保存活用サポートボランティア 684人 ・れきし体験学習ボランティア 954人 <p>2 歴史博物館教育普及事業(参加者延人数)計1,225人・計22校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水曜歴史講座 723人 ・夏休み事業 29人 ・体験学習室オープンデイ 473人 ・出張授業 8校 ・小学校団体見学 14校 <p>3 兵庫県博物館協会等会費</p>

②事業成果の点検

目標指標	教育普及事業の参加者延べ人数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人
目標・実績	目標値 2,512	達成年度	令和9年度
	令和3年度 1,218	令和4年度 2,385	令和5年度 2,863
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <p>令和5年度は文化財資料保存活用サポートボランティアの増員、体験学習室オープンデイ等のボランティア活動の日数が増えたことにより、参加人数を増やすことができた。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働で地域の歴史に根差した、より一層の文化活動の促進に寄与するとともに、シビックプライドの醸成に資する。 ・当事業に属するボランティアの養成と参画促進、活性化に取り組むとともにより一層の市民グループとの協働も図り、市民と共に歩む博物館を創出していく。 		

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	354	412	523	562	
需用費	108	108	117	142	ボランティア活動用消耗品
役務費	36	39	100	128	ボランティア保険料等
使用料及び賃借料	160	215	256	242	駐車場使用料
負担金補助及び交付金	50	50	50	50	会費
人件費 B	8,635	8,173	7,848	8,873	
職員人工数	1.17	1.32	1.20	1.31	
職員人件費	8,635	8,173	7,136	7,961	
会任等人件費			712	912	
合計 C(A+B)	8,989	8,585	8,371	9,435	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	8,989	8,585	8,371	9,435	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	あまがさきアーカイブズ推進事業費	C52A
根拠法令	公文書館法、尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和46年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	35 社会教育費	
目	18 歴史博物館費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実

局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美
---	----------	---	-------	------	--------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	公文書館法等の定めるところにより、古文書・近現代文書類、刊行物、地図、写真等の歴史資料を市民共有の地域資源として収集・保存・公開し、市民の利用に供していく。これにより、市民の地域への理解・関心・愛着をはぐくみ、協働による地域づくり、市民社会の実現に資する。
事業概要	尼崎地域の古文書等歴史資料を収集・整理・保存し後世に伝え、市民・研究者等に公開し、活用を図る。
実施内容	<p>[令和5年度末現在、史料所蔵点数] 古文書・近現代文書類2,777件147,703点 その他を含む所蔵点数合計292,056点</p> <p>[令和5年度の実施事項] 古文書・近現代文書類等の歴史資料の調査、収集、整理、公開 Web上における古文書類他史料目録データ公開の拡充及びデジタルアーカイブの構築 市民ボランティアによる整理作業の実施 ボランティア作業実績 164回 延べ278人 (令和4年度実績:180回 延べ288人) 歴史博物館紀要『地域史研究』第123号の発行 600部 学校・図書館・公文書館・博物館等への配布及び頒布 講座等実施実績 104回 延べ885人 (令和4年度実績:101回 延べ955人)</p>

②事業成果の点検

目標指標	年間相談利用人数(適切な成果指標の設定は困難なため、活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	2,345	達成年度	令和9年度	令和3年度	2,293	令和4年度	2,229	令和5年度	2,223
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間相談利用人数は、過去2年と比べほぼ同水準の利用人数となり、過去最多の2,345人(平成29年度実績)に近い利用実績を記録することができた。 市民ボランティア等の参加協力を得て、古文書・近現代文書類等各種史料の調査、収集、整理、公開を進めるとともに、Web上における目録データ公開の拡充、デジタル・アーカイブの構築に努めた。あわせて、調査研究成果のアウトプットとして、歴史博物館紀要『地域史研究』第123号を発行し、学校・図書館等関係機関に配布、一般読者向けに頒布した。 『尼崎市史』を読む会』等例年継続している講座を実施したほか、新規に夏休みの特別企画として「大人の自由研究史料を嗜む」を開催した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き各種資料の調査、収集、整理を計画的に進め、すみやかに利用者に資料を公開できるよう努める。さらに、尼崎の歴史にとって重要な近現代資料については、令和5年度に締結した京都大学人文科学研究所との連携協定に基づき、資料の整理・修復及び調査・研究を実施し、今後の公開に向けた準備を進めていく。 令和5年度に館独自のデジタル・アーカイブを構築したことを踏まえ、今後はデジタル・アーカイブに搭載するコンテンツの拡充を実施していく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	2,458	1,612	1,568	1,722	
需用費	1,194	651	723	778	史料購入費、紀要印刷製本費等
役務費	137	137	140	248	サーバー回線経費
委託料	186	0	0	0	歴史資料電子化
使用料及び賃借料	728	465	465	466	マイクロフィルムスキャナーリース料等
その他	213	359	240	230	報償費(原稿料等)、負担金、備品購入費
人件費 B	34,664	27,098	27,582	24,647	
職員人工数	1.89	1.80	2.10	1.60	
職員人件費	12,995	12,869	14,830	11,327	
会任等人件費	21,669	14,229	12,752	13,320	
合計 C(A+B)	37,122	28,710	29,150	26,369	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他	165	346	176	362	市政資料等頒布収入等
一般財源	36,957	28,364	28,974	26,007	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	歴史的公文書等管理・公開事業費	C52D	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市公文書の管理等に関する条例			展開方向	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	令和4年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費			01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	「尼崎市公文書の管理等に関する条例」に基づき、全庁の公文書を対象に歴史的価値を有するものを確実に選別・移管して特定歴史的公文書として管理するとともに、これら公文書の利用請求制度を運用し、市として現在と将来の市民に対する説明責任を果たしていく。
事業概要	本市が作成・保存する公文書から特定歴史的公文書を選別して歴史博物館に移管し、整理のうえ市民の利用に供する。
実施内容	<p>[令和5年度末現在、特定歴史的公文書等所蔵点数]</p> <p>紙簿冊16,198点 電子文書3,836点 行政資料 5,299点</p> <p>[令和5年度末現在、特定歴史的公文書目録掲載、利用請求対象点数]</p> <p>紙簿冊9,462点</p> <p>[令和5年度の利用実績]</p> <p>利用請求件数(人数) 40件(人) 利用簿冊冊数 102点</p> <p>[令和5年度、特定歴史的公文書電子化実績]</p> <p>225点</p>

②事業成果の点検

目標指標	歴史的公文書整理・公開点数							単位	点	
目標・実績	目標値	22,000	達成年度	令和6年度	令和3年度	—	令和4年度	2,199	令和5年度	9,462
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定歴史的公文書利用請求制度について、大学等専門機関による調査研究・学習利用等の利用促進を継続し、年度を通して計40件(人)102冊の利用実績を得た。引き続き利用促進に努める。 ・電子化した特定歴史的公文書のうち明治・大正期の文書データについて、デジタルアーカイブ公開を進め利用に供している。 ・特定歴史的公文書の整理・目録掲載に努め、9,462点(令和4年度末段階の約4.3倍)を利用請求対象としたが、整理・目録づくりに十分に手が回っていない現状がある。引き続き作業を進めていく。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けて、特定歴史的公文書の整理作業を継続する。 ・利用促進及び電子化データのデジタルアーカイブ公開を継続し、来館・ウェブ経由の両方を通して閲覧利用を促進する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	0	9,588	3,206	3,200	
需用費		321	369	56	整理保存用品等購入費
委託料		8,486	1,239	1,543	歴史的公文書電子化等
使用料及び賃借料		781	1,598	1,601	基幹業務システム経費
人件費 B	0	6,621	8,006	7,963	
職員人工数		0.20	0.42	0.37	
職員人件費		1,533	2,836	2,494	
会任等人件費		5,088	5,170	5,469	
合計 C(A+B)	0	16,209	11,212	11,163	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金		12,268			コロナ臨時交(国10/10)、デジ田園(国1/2)
市債					
その他					
一般財源	0	3,941	11,212	11,163	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	MLA連携推進事業費	C52E	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	尼崎市立歴史博物館の設置及び管理に関する条例		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度			令和4年度
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	35 社会教育費				
目	18 歴史博物館費				
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	次期総合計画にもその趣旨が記載されているMLA連携(博物館(M)、図書館(L)、文書館(A)の協力・連携活動)を推進し、市民の学びを支える環境を整備する。
事業概要	歴史博物館所蔵等の歴史資料の電子化を実施するとともに、これをウェブ公開していくためのデジタルアーカイブを運用していく。
実施内容	<p>[令和5年度実施実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史博物館と図書館の蔵書データベースを一本化し相互利用を図るため、歴史博物館が所蔵する15,118冊の書誌データを図書館の蔵書データベースに登載した。 歴史博物館及び図書館において利用頻度の高い尼崎藩関係資料及び近代産業資料等について、デジタル化を実施し、供用を図った。 歴史博物館デジタルアーカイブを開設し、歴史資料202件のデジタルデータを公開した。また、歴史博物館デジタルアーカイブと国立国会図書館が運営するジャパンサーチとも連携を実施し、図書館でのさらなる活用に向けた取組を行った。

②事業成果の点検

目標指標	デジタルアーカイブに公開する資料件数							単位	件	
目標・実績	目標値	900	達成年度	令和7年度	令和3年度	—	令和4年度	—	令和5年度	202
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史博物館デジタルアーカイブを開設したことにより、ウェブ上における博物館資料の閲覧利用を実現した。また、様々な分野のコンテンツを検索・閲覧できるジャパンサーチとの連携により、市民をはじめ多様な利用者による資料閲覧利用の体制を構築した。今後は、歴史博物館デジタルアーカイブのコンテンツを計画的に拡充し、博物館資料の活用を促進する。 市立図書館の蔵書検索システムに歴史博物館所蔵図書データを登載し、図書館及び博物館の連携を実現した。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き歴史博物館等所蔵歴史資料の電子化を実施し、図書館でもアクセスできるようデジタルアーカイブに順次登載していく。 市立図書館の蔵書検索システムに歴史博物館所蔵図書データの登載を進め、新規利用者の拡充に努める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	0	12,414	921	1,010	
委託料		12,414	481	482	歴史資料電子化委託
使用料及び賃借料			440	528	デジタルアーカイブシステム使用料
人件費 B	0	0	2,398	2,865	
職員人工数			0.05		
職員人件費			254		
会任等人件費			2,144	2,865	
合計 C(A+B)	0	12,414	3,319	3,875	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金		12,414	461		コロナ臨交(国10/10)、デジ田(国1/2)
市債					
その他					
一般財源	0	0	2,858	3,875	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	田能資料館展示事業費	C532	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和46年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課	歴史博物館	所属長名 門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	国史跡に指定されている田能遺跡にみられる弥生文化と他地域との関連・波及状況、弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展などを紹介し、弥生文化の重要性について周知を図ることにより、文化財及び郷土文化に対する市民の関心を高める。
事業概要	田能資料館で、田能遺跡や弥生文化などをテーマとした企画展を開催する。
実施内容	<p>○前期企画展 「チャレンジ★やよい人！ー石器づくりー」 開催期間:令和5年6月6日～9月3日 入館者数:6,868人 関連事業:展示解説会(2回)、石の矢じり風ペンダントづくり(2回)</p> <p>○後期企画展 「田能遺跡の発掘成果ー第1A・1B調査区」 開催期間:令和5年10月7日～12月17日 入館者数:6,723人 関連事業:展示説明会(2回)</p>

②事業成果の点検

目標指標	田能資料館年間入館者数	単位	人
目標・実績	目標値 33,000	達成年度	令和9年度
	令和3年度	27,307	令和4年度
	31,108	令和5年度	28,060
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成) ・令和4年度は、23年ぶりに建替えた高床倉庫の見学者が多く、令和5年度は猛暑による夏期の来館者の落ち込みもあり、通年では入館者の減となった。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持) ・事業参加者数の確保はもとより、より魅力ある内容の企画展の開催に取り組む。</p>		

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	217	300	299	350	
需用費	217	300	299	278	企画展パンフレット等印刷費
使用料及び賃借料				72	パソコンソフト使用料
人件費 B	2,540	1,431	1,587	2,400	
職員人工数	0.00	0.00	0.02	0.02	
職員人件費			154	157	
会任等人件費	2,540	1,431	1,433	2,243	
合計 C(A+B)	2,757	1,731	1,886	2,750	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	2,757	1,731	1,886	2,750	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	田能資料館教育普及事業費	C53B	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-3 歴史遺産の継承と学びの充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 令和3年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	35 社会教育費			
目	18 歴史博物館費			
局	教育委員会事務局	課 歴史博物館	所属長名	門田 真由美

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	弥生文化をより身近なものとして理解するため、古代の暮らしを体験できる学習会等の事業を展開して弥生時代の人々の生活や技術・文化の発展に対する認識を新たに、市民の歴史学習を支援するとともに、文化財に対する関心を高める。
事業概要	田能資料館で、勾玉づくりや石の鍔づくりなどを体験する学習会等を開催する。また、市民ボランティアの育成・運営を行う。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○古代の暮らしを体験できる事業を展開する。 <ul style="list-style-type: none"> ・勾玉をつくろう(計20人)、弥生土器をつくろう(計24人)、石のやじりをつくろう(計14人)、銅剣をつくろう(計30人) ・はっぴいたのういん(計111人) ○田能遺跡サポーター(市民ボランティア)との協働による事業実施、研修、ボランティア保険の加入 ○出張体験授業・講演(計16回)

②事業成果の点検

目標指標	事業参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	340	達成年度	令和9年度	令和3年度	170	令和4年度	413	令和5年度	199
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館ができない小学校等への出張授業等を計16回行った。 ・令和4年度に245人の参加があった「ゴールデンウィークは田能資料館へ行こう」が悪天候のため中止となったため、事業参加数が目標値を下回った。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代の生活文化を子どもから大人まで学べる貴重な体験学習の場の提供は、田能資料館が開館以来取り組んできた事業であり、天候に左右されることもあるが、今後とも継続的に実施していくことができるよう、田能遺跡サポーターとの協働も含めて取組を進めていく。 ・来館が難しい小学校等に対して、出張授業等を通じて教育普及活動の実践に努める。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	689	415	465	517	
報償費	90	80	80	98	講師謝礼
需用費	595	167	267	290	パンフレット印刷費等
役務費	3	50	50	54	Wifi通信費
委託料	0	0	65	65	田能遺跡まつり委託料
その他	1	118	3	10	旅費
人件費 B	4,115	2,146	2,917	4,459	
職員人工数	0.11	0.00	0.03	0.05	
職員人件費	849	0	230	392	
会任等人件費	3,266	2,146	2,687	4,067	
合計 C(A+B)	4,804	2,561	3,382	4,976	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	4,804	2,561	3,382	4,976	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	「スポーツのまち尼崎」促進事業費	CA1A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成9年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 本田 勝也

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツの全国大会等を誘致することにより、市民のスポーツへの参加意識の高揚と競技力の向上を促進し、「スポーツのまち尼崎」をアピールすることでイメージアップを図る。	
事業概要	スポーツの全国大会等の誘致及び開催、スポーツのまち尼崎フェスティバルに係る施設使用料の支出、トップアスリートとの交流	
実施内容	全国大会等の誘致のため、大会主催団体との折衝、関係機関との調整、大会の広報等の業務を行う。	
	誘致大会名	観戦者数(人)
	1 JD.LEAGUE 第1節 尼崎大会	1,160
	2 内閣総理大臣杯争奪第61回西日本実業柔道団体対抗大会	600
	3 (一社)全日本実業団空手道連盟第3回西日本地区大会	500
	4 2023年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子25回 女子15回)	1,050
	5 T.LEAGUE	1,008
	6 2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN	4,300
7 2023-24 Wリーグレギュラーシーズン	2,374	
合計	10,992	

②事業成果の点検

目標指標	全国大会等の観戦者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人
目標・実績	目標値 30,000	達成年度	令和9年度
	令和3年度	5,768	令和4年度
	13,473	令和5年度	10,992
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: 下回った)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は1大会が無観客であったが、令和4年度は無観客開催や大会中止はなかった。 令和5年度は令和4年度と比べ3大会減の7大会を開催し、観戦者は2,481人減少した。 市民の関心が高い競技の誘致に当たっては、トップリーグの大会では施設に求められる水準が高いことや、大学・高校では既に固定的な開催場所もある中、引き続き体育協会等とも連携しながら粘り強い誘致活動が必要である。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> T.LEAGUE等において、大会主催者と協力して割引を行うことにより、スポーツの魅力を直接会場で体感できる機会を提供するなど、観戦をきっかけとして、スポーツへの関心や参加意欲を高めていく。 本市で開催するメリットを改めて明確にした上で、時勢を捉えながら、粘り強く誘致活動を続けていく。また、経済効果の検証に向けて、各大会観戦者等へのアンケート調査の実施を主催者に求めていく。 HPや市報への掲載に加え、チラシ配布が可能な大会は、小・中学校にチラシを配布し、観戦者の増につなげる。 		

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	7,674	9,538	9,271	10,601	
報償費		2	2	2	交流試合審判報償費
委託料	4,981	5,381	5,381	5,381	全国大会等の誘致に係る委託料
使用料及び賃借料	2,693	4,154	3,887	5,216	全国大会等の誘致に係る施設使用料等
役務費		1	1	2	保険料
人件費 B	1,776	2,547	1,997	3,609	
職員人工数	0.23	0.40	0.26	0.46	
職員人件費	1,776	2,547	1,997	3,609	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	9,450	12,085	11,268	14,210	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	9,450	12,085	11,268	14,210	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	ふれあいスポーツ推進事業費	CA2A	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成12年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 本田 勝也

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	記念公園総合体育館ヘルスエリアに体格に合わせて調節のできるトレーニングマシンや、車椅子利用者も利用できるトレーニングマシン等を設置するとともに、トレーニングの実技指導を行うことにより、市民の体力向上や健康の保持増進を図る。
事業概要	トレーニングマシンの設置、トレーニング指導・健康相談等業務の実施
実施内容	<p>1 トレーニング指導等業務…トレーニング指導や利用者の個人プログラムの作成等を行う。 (利用人数)トレーニング室利用人数 71,717人 (委託先)尼崎市スポーツ振興事業団 (実績)31,489千円</p> <p>2 トレーニング機器の設置…トレーニング機器をリース契約し、トレーニング室に設置する。 (実績)3,612千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	トレーニング指導業務の利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	103,916	達成年度	令和9年度	令和3年度	59,196	令和4年度	66,278	令和5年度	71,717
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <p>・トレーニング指導業務の利用者数は、令和3年度から令和4年度で7,082人、令和4年度から令和5年度で5,439人増加と年々増加傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準には戻っていない。</p> <p>・トレーニング機器の老朽化が進んでおり、安全確保の観点からも、計画的な更新を進めている。</p> <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <p>・トレーニング指導事業は、市民の健康維持や競技力の向上につながり、また誰もが気軽に利用することができる事業であることから、継続して事業を実施するとともに、市民サービスの向上に一層資する事業の在り方について検討していく。</p>									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	34,830	34,721	35,101	35,826	
委託料	30,951	31,489	31,489	31,489	トレーニング指導等業務委託料
使用料及び賃借料	3,879	3,232	3,612	4,337	トレーニング機器のリース料等
人件費 B	849	661	1,536	1,334	
職員人工数	0.11	0.12	0.20	0.17	
職員人件費	849	661	1,536	1,334	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	35,679	35,382	36,637	37,160	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	35,679	35,382	36,637	37,160	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	生涯スポーツ・レクリエーション事業費	CA31	施策	01 地域コミュニティ・学び
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 平成4年度		
会計	01 一般会計			
款	50 教育費			
項	40 保健体育費			
目	15 社会体育費			
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名 本田 勝也

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツやレクリエーション活動に親しむ機会を市民に提供することにより、市民の健康の保持・増進に寄与するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図る。
事業概要	レクリエーション活動の場を提供する月例事業、スポーツ推進委員による指導者の派遣や市内公園での軽スポーツの指導、地区体育館におけるスポーツ用具の貸出を行う。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 月例事業…ジョギングや史跡めぐり等、市民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション事業を実施する。(参加人数)891人 (委託先)尼崎市レクリエーション協会 (実績)219千円 2 スポーツ要請指導…地域団体等からの要請に応じ、スポーツ推進委員による健康づくりのための指導を行う。(利用人数)2,044人 3 さわやか地域スポーツ活動…スポーツ推進委員により、市内の公園でのスポーツの実技指導を行う。(参加人数)3,296人 4 スポーツ用具貸出…地区体育館においてグラウンド・ゴルフやペタンク等の用具貸出を行う。(利用人数)872人

②事業成果の点検

目標指標	生涯スポーツ・レクリエーション事業の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>11,000</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和3年度</th> <td>5,202</td> <th>令和4年度</th> <td>6,614</td> <th>令和5年度</th> <td>7,103</td> </tr> </table>	目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	5,202	令和4年度	6,614	令和5年度	7,103		
目標値	11,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	5,202	令和4年度	6,614	令和5年度	7,103				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月例事業について、32回の実施となり令和4年度に比べ、参加者数が49人増加した。また、スポーツ要請指導は大規模なスポーツイベントが開催されたため、利用人数は750人増加した。 ・さわやか地域スポーツ活動については、参加者数が258人減となった。 ・スポーツ用具貸出においては、定期的に貸し出していた団体が活動休止となったため52人の減となった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ・レクリエーション事業は、市民が気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しむことができる場となり、生涯スポーツの推進等に必要となるため、継続して事業を実施する。 ・月例事業において、参加者の増加を図るため、参加者に好評であったコースは継続し、新たな魅力あるコース設定の検討を行う。 ・さわやか地域スポーツ活動は、新種目のモルックがペタンクとともに定着したことから、実施公園の近隣へのチラシ配布により一層の新規参加者の増を目指す。 ・スポーツ用具貸出においては、これまで貸出実績のある団体を中心に利用促進を図るほか、新規の利用団体増を図り、生涯を通してスポーツに触れられる環境を創出する。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	420	410	480	524	
報償費	4		15	18	研修講師謝礼
旅費		9	102	100	出張旅費
需用費	209	153	84	102	被服・消耗品費等
委託料	202	225	219	230	月例事業委託料
その他	5	23	60	74	施設使用料・推進委員に係る負担金
人件費 B	2,625	1,763	3,994	3,609	
職員人工数	0.34	0.23	0.52	0.46	
職員人件費	2,625	1,763	3,994	3,609	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	3,045	2,173	4,474	4,133	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	3,045	2,173	4,474	4,133	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	市民スポーツ振興事業費	CA3K
根拠法令	—	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和20年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	40 保健体育費	
目	15 社会体育費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実

局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	本田 勝也
---	----------	---	---------	------	-------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	スポーツ指導者の養成や優秀な成績を収めた選手等に対する表彰等、スポーツを行う者を支援する事業を実施することにより、本市のスポーツの推進と競技力の向上を図る。
事業概要	全国大会等に出場する市民に対する激励金の支給、優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対する表彰、スポーツ指導者の養成、スポーツ団体の指導者に対する傷害保険の加入事業を行う。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ振興激励金事業…全国大会等に出場する市民等に対し、大会区分に応じた激励金を支給する。(支給人数)415人 2 スポーツ指導者養成事業…スポーツ指導者の育成のため、大学教授や著名人による講習会等を実施する。(参加人数)種目別指導者講習会1,534人、スポーツ指導者講演会92人、スポーツ指導者養成講習会60人 3 スポーツ指導者傷害保険加入事業…スポーツ団体の指導者を傷害保険に加入させる。(保険加入人数)251人 4 スポーツ顕彰事業…優秀な成績を収めた選手や功績のあった指導者に対し表彰を行う。 (1)体育功労者表彰 (被表彰者数)3人 (2)スポーツ特別賞・スポーツ賞 (被表彰者数)スポーツ特別賞6人・スポーツ賞1人

②事業成果の点検

目標指標	スポーツ振興激励金の支給者数等(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	3,200	達成年度	令和9年度	令和3年度	1,314	令和4年度	2,094	令和5年度	2,361
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: やや達成できず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興激励金事業は、申請者が昨年度と比べて110人増加した。 ・令和4年度、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したスポーツ指導者講習会を、令和5年度は実施することができた。今後においては、技術だけではなく、考え方や内面からのアドバイスができる指導方法が課題となっている。 ・種目別指導者講習会は、24種目中20種目を開催し昨年度と比較し75人増となった。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを行う市民等を支援し、スポーツに取り組み易い環境づくりを行うことで、市民スポーツの推進を図るものであり、継続して事業を実施する。 ・令和5年度のスポーツ指導者講演会は、「繋ぐ」をテーマに、チーム内で自分の役割を理解することについての講演を実施した。また、スポーツ指導者講習会は、「スポーツ障害の予防と対応」をテーマに、ケガの予防や対処方法についての講習を実施した。講演会、講習会ともに参加者から好評であったことから、引き続き、現在のスポーツを取り巻く課題や指導者としての考え方、備えるべき知識等を的確に捉えたテーマを設定し、実施する。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	1,731	2,284	2,515	2,809	
報償費	1,192	1,564	1,716	1,834	スポーツ振興激励金等
役務費	366	328	316	385	スポーツ指導者傷害保険
委託料	157	350	416	476	種目別指導者講習会等委託料
使用料及び賃借料	16	42	67	114	有料公園等施設使用料
人件費 B	5,174	4,369	4,993	3,609	
職員人工数	0.67	0.57	0.65	0.46	
職員人件費	5,174	4,369	4,993	3,609	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	6,905	6,653	7,508	6,418	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	6,905	6,653	7,508	6,418	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	スポーツ大会事業費	CA41	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度	昭和20年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	本田 勝也

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	各種スポーツ大会の開催等を行い、市民が日頃の練習の成果を発揮する機会と場の確保を行う。
事業概要	各種スポーツ大会の開催及び運営等を行う。
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 市民スポーツ祭…4月から9月の期間、野球、陸上競技等22種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)15,916人 (委託先)尼崎市体育協会 市長旗・マスターズ選手権大会 (1)市長旗大会…9月から3月の期間、野球、陸上競技等22種目のスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)15,336人 (2)マスターズ選手権大会…中高年を対象としたスポーツ大会の開催を行う。 (参加人数)3,030人 (委託先)尼崎市体育協会 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会…兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 (出場選手)26人 (大会結果)男子総合6位、女子総合13位 阪神地区都市対抗駅伝競走大会…阪神地区都市対抗駅伝競走大会の運営等を行う。 (出場選手)40人 (大会結果)男子A4位・B12位、女子A4位、B7位

②事業成果の点検

目標指標	市民スポーツ祭等の参加者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)	単位	人										
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <td>39,000</td> <th>達成年度</th> <td>令和9年度</td> <th>令和3年度</th> <td>26,160</td> <th>令和4年度</th> <td>33,833</td> <th>令和5年度</th> <td>34,348</td> </tr> </table>	目標値	39,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	26,160	令和4年度	33,833	令和5年度	34,348		
目標値	39,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	26,160	令和4年度	33,833	令和5年度	34,348				
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツ祭は、水泳の大会が中止となったことから、参加者は令和4年度と比べ369人減少した。 市長旗選手権大会は、昨年度と比べ1,589人の増、マスターズ選手権大会は705人の減となった。 兵庫県郡市区対抗駅伝競走大会及び阪神地区都市対抗駅伝競走大会では、練習場所を確保するために合同練習会を実施し、男女ともに好成績を残した。選手が実力を発揮することができるよう、引き続き練習場所を確保することが重要である。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ大会事業は、市民が日頃スポーツを練習している成果を発揮する機会となっており、令和5年度は、市民スポーツ祭で22種目、市長旗大会で22種目、マスターズ選手権大会で17種目を開催した。競技スポーツや生涯スポーツ等の推進が必要となることから、継続して事業を実施する。 令和5年度は、令和4年度と比べ、市民スポーツ祭、マスターズ選手権大会において参加者数が減少していることから、引き続き、市報やホームページ等において、市主催のスポーツ大会に関する情報発信を充実させることにより、大会参加者数の増加を図る。 駅伝競走大会は、本市の選手が実力を発揮することができるよう、引き続き会場までの交通手段を確保する。また、陸上競技協会と連携し、協会の練習会と合同で駅伝競技の練習会を実施することで練習機会の拡大を図る。 												

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	7,747	9,214	10,173	10,036	
需用費	53	53	53	53	各種大会事業消耗品費等
委託料	958	1,866	1,814	2,349	市民スポーツ祭事業等委託料
使用料及び賃借料	6,736	7,295	8,261	7,589	有料公園施設等使用料
負担金補助及び交付金			45	45	駅伝競走大会に係る分担金
人件費 B	2,625	1,303	999	2,668	
職員人工数	0.34	0.17	0.13	0.34	
職員人件費	2,625	1,303	999	2,668	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	10,372	10,517	11,172	12,704	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	10,372	10,517	11,172	12,704	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	学校開放事業費	CA4K
根拠法令	尼崎市立学校スポーツ施設の使用に関する規則	
事業分類	ソフト事業	事業開始年度 昭和42年度
会計	01 一般会計	
款	50 教育費	
項	40 保健体育費	
目	15 社会体育費	

施策	01 地域コミュニティ・学び
展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実

局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課、職員課	所属長名	本田 勝也、西川 欣伸
---	----------	---	-------------	------	-------------

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	市立学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放することにより、市民スポーツや地域スポーツ活動の推進を図る。
事業概要	市立学校のスポーツ施設(グラウンド、体育館及び柔剣道場)を市民に開放する。
実施内容	1 学校開放運営事業、学校開放業務委託事業…学校スポーツ施設の開放のため、各学校に学校開放職員を配置し、受付業務や施設開放業務を行う。 (利用人数)小学校602,401人、中学校82,369人、定時制高等学校4,090人、特別支援学校2,960人、クラブハウス6,161人、地域運動会3,651人 (委託先)尼崎市シルバー人材センター及び学校開放運営委員会 2 学校開放維持管理事業…学校のスポーツ施設の維持管理のため、夜間照明設備等の修繕を行う。

②事業成果の点検

目標指標	学校開放利用者数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)						単位	人		
目標・実績	目標値	690,000	達成年度	令和9年度	令和3年度	537,279	令和4年度	687,560	令和5年度	701,632
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校スポーツ施設の利用者数は、昨年度と比べて小学校で4,951人、中学校で2,630人、定時制高等学校で3,460人、クラブハウスで847人増加、特別支援学校で665人減少し、合計で11,223人増加した。 学校開放運営委員会による地域運動会については、21校中13校で実施し、参加者数は、3,651人であった。 実行役員の高齢化に伴う担い手不足などにより、スポーツイベント等が開催できなかった学校開放運営委員会やスポーツクラブ21があることから、スポーツイベントや教室が開催可能となるよう各委員会、クラブの状況に応じた支援をしていく必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校スポーツ施設の開放は、市民が身近な地域で気軽に運動やスポーツを行える場所となっていることから、継続して事業を実施する。 学校開放運営委員会、スポーツクラブ21がスポーツイベント等を積極的に行えるよう、事業内容の提案や効率的な実施による負担軽減等についての助言等を行う。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	60,872	82,016	84,496	219,526	
報償費				5	現場管理に対する謝金
需用費	897	1,182	1,136	1,440	夜間照明設備修繕料等
役務費	29	30	33	33	夜間照明設備等火災保険加入経費
委託料	59,946	80,804	83,327	89,975	学校開放事業等委託料
工事請負費				128,073	夜間照明LED化改修工事
人件費 B	4,710	4,752	5,454	3,609	
職員人工数	0.61	0.62	0.70	0.46	
職員人件費	4,710	4,752	5,454	3,609	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	65,582	86,768	89,950	223,135	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	65,582	86,768	89,950	223,135	

令和6年度事務事業シート(令和5年度決算)

事務事業名	体育協会等補助金	CA5K	施策	01 地域コミュニティ・学び	
根拠法令	—		展開方向	01-4 スポーツに親しむ機会の充実	
事業分類	補助金・助成金	事業開始年度	昭和32年度		
会計	01 一般会計				
款	50 教育費				
項	40 保健体育費				
目	15 社会体育費				
局	教育委員会事務局	課	スポーツ推進課	所属長名	本田 勝也

①事業目的・事業概要・実施内容

事業目的 (趣旨・対象・求める成果)	尼崎市体育協会等に対して補助金を交付し、その活動を支援することにより、市民の健全な心身の発達と豊かな健康づくりを図る。
事業概要	尼崎市体育協会等に対して補助金の交付を行う。
実施内容	<p>1 体育協会補助金…本市の競技スポーツ及び生涯スポーツの推進を担っている尼崎市体育協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)27団体 (会員数)20,031人 (実績)1,405千円</p> <p>2 レクリエーション協会補助金…本市のスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与している尼崎市レクリエーション協会に対して、補助金の交付を行う。 (加盟団体)6団体 (会員数)220人 (実績)250千円</p> <p>3 スポーツ振興事業団…市と一体的に市の政策を推進していく団体に本市OB職員を幹旋し、その報酬等に対する補助金の交付を行う。 (人数)1名 (実績)8,597千円</p>

②事業成果の点検

目標指標	尼崎市体育協会等の会員数(適切な成果指標の設定は困難なため活動指標を設定)							単位	人	
目標・実績	目標値	24,338	達成年度	令和9年度	令和3年度	20,982	令和4年度	20,750	令和5年度	20,251
事業成果 (達成状況等)	<p>【成果と課題】(目標に対する達成状況: (概ね)達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会等に対して補助金を交付し、スポーツ活動やレクリエーション活動を支援することにより、市民の健康づくりと競技力の向上等を図った。 ・レクリエーション協会の会員数は昨年度と比べて51人減少した。また、体育協会の会員数は昨年度と比べて448人減少した。今後は、各協会の活動がより活発になるよう、会員数の増加を図る必要がある。 <p>【今後の取組方針】(事業の方向性: 維持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各協会を支援することは、競技スポーツや生涯スポーツ等の推進につながることから、継続して事業を実施する。 ・市のスポーツイベントや各協会の取組において連携・協力することにより、参加者の増加を図り市民スポーツの推進に取り組む。 ・市主催イベント等において各協会の活動内容等の広報を行うことで、市民への周知を図り、会員数の増加へつなげていく他、より良い事業実施に向け引き続き共に取り組んでいく。 									

③事業費

(単位:千円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	(参考)令和6年度予算	備考
事業費 A	10,246	10,153	10,251	11,125	
負担金補助及び交付金	10,246	10,153	10,251	11,125	体育協会等補助金
人件費 B	2,625	7,305	11,061	4,002	
職員人工数	0.34	0.97	1.44	0.51	
職員人件費	2,625	7,305	11,061	4,002	
会任等人件費					
合計 C(A+B)	12,871	17,458	21,312	15,127	
Cの財源内訳					
国庫・県支出金					
市債					
その他					
一般財源	12,871	17,458	21,312	15,127	